

○鐵道院告示第四十號

明治四十一年八月十八日鐵道院告示第十號管理局所管區域分界線中高崎起點二十七哩十五釐ヲ二十六哩六十釐ト改定ス

明治四十二年八月十一日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第四十一號

阪鶴線福知停車場ハ明治四十二年九月三十日限

ヲ廢止ス

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第四十二號

明治四十一年八月十二日鐵道院告示第四號鐵道管理局內各事務所ノ名稱位置及所管區域中北海道鐵道管理局管内各出納事務所ヲ削除シ函館運輸及保線事務所所管區域ヲ函館小澤間ニ岩見澤運輸及保線事務所所管區域ヲ岩見澤室蘭間追分夕張間紅葉山樫間ニ改メ明治四十二年九月一日ヨリ施行ス

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第四十三號

明治四十二年九月一日ヨリ三留野野尻間鐵道運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ如シ

鐵道院總裁 男爵後藤新平

三留野野尻間

哩程 五哩七分

○外務省告示第八號

明治四十二年八月十八日北米合衆國「コロラド州デンヴァー」市ニ帝國名譽領事館ヲ設置セリ

外務大臣 伯爵小村壽太郎

明治四十二年八月 告示 鐵道院第四十號 第四十一號 第四十二號 第四十三號 外務省第八號 一五〇一

2320.91
CZ
↑

12-170

○內務省告示第九十六號

一紙幣形圖畫 三種三枚

但大日本小供銀行千萬圓地雷ト記載アルモノ一枚

同上百萬圓斥候ト記載アルモノ一枚

同上拾圓少將ト記載アルモノ一枚

右何レモ第一勉強七五三〇日本子供手遊用商賣繁榮ト記載アリ

右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十二年七月三十一日發賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

○內務省告示第九十七號

明治三十年法律第二十九號砂防法第二條ニ依リ砂防設備ヲ要スル土地左ノ通指定ス

○內務省告示第九十八號

明治四十二年八月五日 內務大臣 法學博士男爵平田東助

三重縣

郡名 村名 大字名

字

鈴鹿 坂下 坂下 上中町下石倉上石倉古町峠鈴鹿山兜谷湯谷大踏谷瓜畑片畑

○內務省告示第九十九號

一新聲 第二十卷第七號 一册

右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十二年八月五日發賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

○內務省告示第一百號

一生殖器論 一册

右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十二年八月十二日發賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

○內務省告示第一百一號

明治四十二年八月十三日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百二號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百三號

明治三十年法律第二十九號砂防法第一條ニ依リ砂防設備ヲ要スル土地左ノ通指定ス

○內務省告示第一百四號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百五號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百六號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百七號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百八號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百九號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百十號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百十一號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百十二號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百十三號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百十四號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百十五號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百十六號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百十七號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○內務省告示第一百十八號

明治四十二年八月十八日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

福井縣		人口		人口		人口	
郡名	大字名	小字名	地	番	同	同	同
大野	五箇	上打波	百坪	一番ノ三	二番ノ四	同	同
同	同	同	龍黒	一番ノ二	二番	同	同
同	同	同	猪ヶ谷	一番ノ三	二番ノ四	同	同
同	同	同	亥向	一番ノ二	二番ノ三	同	同
同	同	同	備兵五	一番ノ二	二番ノ三	同	同
同	同	同	又七	一番ノ一	二番ノ二	同	同
同	同	同	ノ三三	二番	三番	同	同
同	同	同	ノ三三	三番	四番	同	同
同	同	同	ノ三三	四番	五番	同	同
同	同	同	ノ三三	五番	六番	同	同
同	同	同	ノ三三	六番	七番	同	同
同	同	同	ノ三三	七番	八番	同	同
同	同	同	ノ三三	八番	九番	同	同
同	同	同	ノ三三	九番	十番	同	同
同	同	同	ノ三三	十番	十一番	同	同
同	同	同	ノ三三	十一番	十二番	同	同
同	同	同	ノ三三	十二番	十三番	同	同
同	同	同	ノ三三	十三番	十四番	同	同
同	同	同	ノ三三	十四番	十五番	同	同
同	同	同	ノ三三	十五番	十六番	同	同
同	同	同	ノ三三	十六番	十七番	同	同
同	同	同	ノ三三	十七番	十八番	同	同
同	同	同	ノ三三	十八番	十九番	同	同
同	同	同	ノ三三	十九番	二十番	同	同
同	同	同	ノ三三	二十番	二十一番	同	同
同	同	同	ノ三三	二十一番	二十二番	同	同
同	同	同	ノ三三	二十二番	二十三番	同	同
同	同	同	ノ三三	二十三番	二十四番	同	同
同	同	同	ノ三三	二十四番	二十五番	同	同
同	同	同	ノ三三	二十五番	二十六番	同	同
同	同	同	ノ三三	二十六番	二十七番	同	同
同	同	同	ノ三三	二十七番	二十八番	同	同
同	同	同	ノ三三	二十八番	二十九番	同	同
同	同	同	ノ三三	二十九番	三十番	同	同
同	同	同	ノ三三	三十番	三十一番	同	同
同	同	同	ノ三三	三十一番	三十二番	同	同
同	同	同	ノ三三	三十二番	三十三番	同	同
同	同	同	ノ三三	三十三番	三十四番	同	同
同	同	同	ノ三三	三十四番	三十五番	同	同
同	同	同	ノ三三	三十五番	三十六番	同	同
同	同	同	ノ三三	三十六番	三十七番	同	同
同	同	同	ノ三三	三十七番	三十八番	同	同
同	同	同	ノ三三	三十八番	三十九番	同	同
同	同	同	ノ三三	三十九番	四十番	同	同
同	同	同	ノ三三	四十番	四十一番	同	同
同	同	同	ノ三三	四十一番	四十二番	同	同
同	同	同	ノ三三	四十二番	四十三番	同	同
同	同	同	ノ三三	四十三番	四十四番	同	同
同	同	同	ノ三三	四十四番	四十五番	同	同
同	同	同	ノ三三	四十五番	四十六番	同	同
同	同	同	ノ三三	四十六番	四十七番	同	同
同	同	同	ノ三三	四十七番	四十八番	同	同
同	同	同	ノ三三	四十八番	四十九番	同	同
同	同	同	ノ三三	四十九番	五十番	同	同
同	同	同	ノ三三	五十番	五十一番	同	同
同	同	同	ノ三三	五十一番	五十二番	同	同
同	同	同	ノ三三	五十二番	五十三番	同	同
同	同	同	ノ三三	五十三番	五十四番	同	同
同	同	同	ノ三三	五十四番	五十五番	同	同
同	同	同	ノ三三	五十五番	五十六番	同	同
同	同	同	ノ三三	五十六番	五十七番	同	同
同	同	同	ノ三三	五十七番	五十八番	同	同
同	同	同	ノ三三	五十八番	五十九番	同	同
同	同	同	ノ三三	五十九番	六十番	同	同
同	同	同	ノ三三	六十番	六十一番	同	同
同	同	同	ノ三三	六十一番	六十二番	同	同
同	同	同	ノ三三	六十二番	六十三番	同	同
同	同	同	ノ三三	六十三番	六十四番	同	同
同	同	同	ノ三三	六十四番	六十五番	同	同
同	同	同	ノ三三	六十五番	六十六番	同	同
同	同	同	ノ三三	六十六番	六十七番	同	同
同	同	同	ノ三三	六十七番	六十八番	同	同
同	同	同	ノ三三	六十八番	六十九番	同	同
同	同	同	ノ三三	六十九番	七十番	同	同
同	同	同	ノ三三	七十番	七十一番	同	同
同	同	同	ノ三三	七十一番	七十二番	同	同
同	同	同	ノ三三	七十二番	七十三番	同	同
同	同	同	ノ三三	七十三番	七十四番	同	同
同	同	同	ノ三三	七十四番	七十五番	同	同
同	同	同	ノ三三	七十五番	七十六番	同	同
同	同	同	ノ三三	七十六番	七十七番	同	同
同	同	同	ノ三三	七十七番	七十八番	同	同
同	同	同	ノ三三	七十八番	七十九番	同	同
同	同	同	ノ三三	七十九番	八十番	同	同
同	同	同	ノ三三	八十番	八十一番	同	同
同	同	同	ノ三三	八十一番	八十二番	同	同
同	同	同	ノ三三	八十二番	八十三番	同	同
同	同	同	ノ三三	八十三番	八十四番	同	同
同	同	同	ノ三三	八十四番	八十五番	同	同
同	同	同	ノ三三	八十五番	八十六番	同	同
同	同	同	ノ三三	八十六番	八十七番	同	同
同	同	同	ノ三三	八十七番	八十八番	同	同
同	同	同	ノ三三	八十八番	八十九番	同	同
同	同	同	ノ三三	八十九番	九十番	同	同
同	同	同	ノ三三	九十番	九十一番	同	同
同	同	同	ノ三三	九十一番	九十二番	同	同
同	同	同	ノ三三	九十二番	九十三番	同	同
同	同	同	ノ三三	九十三番	九十四番	同	同
同	同	同	ノ三三	九十四番	九十五番	同	同
同	同	同	ノ三三	九十五番	九十六番	同	同
同	同	同	ノ三三	九十六番	九十七番	同	同
同	同	同	ノ三三	九十七番	九十八番	同	同
同	同	同	ノ三三	九十八番	九十九番	同	同
同	同	同	ノ三三	九十九番	百番	同	同

○内務省告示第百三號
明治四十一年十二月三十一日調査北海道區制及北海道一級町村制施行地ニ於ケル現任人口左ノ通

明治四十二年八月二十四日
内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第百四號
一 學理實驗男女の秘密
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十二年八月二十六日
發賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

東京市神田區小福谷拾太郎 發行
川町四十三番地
明治四十二年八月二十六日
内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第百五號
一 秀才文壇處女作號
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十二年八月二十六日
發賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

第九卷第十八號
東京市神田區旗籠町野口安治 發行
一丁目二十三番地
明治四十二年八月二十六日
内務大臣 法學博士男爵平田東助

○大藏省告示第百十三號
鐵道國有法第十四條ニ依リ北越、京都、阪鶴、總武、房總、七尾、德島、關西及參宮ノ九鐵道株式會社ニ交
付スヘキ公債左記ノ通本年七月三十一日之ヲ發行セリ

明治四十二年八月二日
大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第百十四號
但甲種國債登錄簿ニ登錄
一 大日本帝國政府五分利公債證書(甲)該號額面六千九百九十萬參千參百五拾圓

明治四十二年九月一日ヨリ同月三十日マテ稅關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣比較表
左ノ通之ヲ定ム
明治四十二年八月二日
大藏大臣 侯爵桂太郎

内外貨幣比較表

外 國 貨 幣	日 本 金 貨
清 國 兩	上海一兩 天津一兩 漢口一兩
墨 西 哥 弗 銀	一ドルラル
英 吉 利 弗 銀	一ドルラル
香 港 弗 銀	一ドルラル
英 領 印 度 貨	一ルーピー
暹 羅 貨	一チカル
	一圓
	一四八
	二〇六
	一七六
	八五一
	八五九
	八五九
	六五二
	七六〇

○大藏省告示第百十五號
煙草專賣法施行細則第三十一條ニ依リ徵收スル葉煙草及製造煙草ノ保管料左記ノ通トシ現品引取ノ際之ヲ徵收ス

明治四十二年八月二日

大藏大臣 侯爵桂太郎

内國產葉煙草 十貫匁一日ニ付
外國產葉煙草 百貫匁一日ニ付
口付煙草(二萬本入) 一箱一日ニ付
兩切卷煙草(一萬五千本入) 同
同(三千本入)
同(六千本入)
刺標草(四貫匁入) 同
刺標草(六貫匁入) 同

七圓
七圓
參圓
貳圓
貳圓
貳圓

○大藏省告示第百十六號

無記名大日本帝國政府五分利公債證書紛失ニ由リ代證券ヲ交付シタル原證券ノ額面金額種類枚數發行年、記號及番號等左ノ如シ

明治四十二年八月二日

大藏大臣 侯爵桂太郎

額面金額種類 枚數 發行年 記號 番號 紛失届出年月日
五拾圓 一 明治三十一年 九六六號 明治三十五年九月渡以降 月二十三日

○大藏省告示第百十七號

東京稅務監督局管内松戶稅務署ヲ明治四十二年八月十一日千葉縣東葛飾郡松戶町松戶千二百七十七番地ニ移ス

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第百十八號

國債事務取扱店中日本銀行大連派出所ノ位置本月一日ヨリ關東州大連大山通ニ變更セリ

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第百十九號

仙臺稅務監督局管内佐沼稅務署ヲ明治四十二年八月十一日宮城縣登米郡佐沼町登米郡役所内へ移ス

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第百二十號

無記名舊北越鐵道株式會社社債券滅失ニ因リ代債券ヲ交付シタルモノ左ノ如シ

大藏大臣 侯爵桂太郎

明治四十二年八月二十四日

明治四十二年八月 告示 大藏省第百十六號 第百十七號 第百十八號 第百十九號 第百二十號

證券種別 額面金 記號 番號 附屬利札 代債券交 仕拂期開始利札ニ對スル代現金仕拂年月日

北越鐵道株式會社債券 五十圓 〃 五五五五 明治四十一年十月渡以降 明治四十二年七月十九日

〇大藏省告示第百二十一號 但明治三十八年法律第十七號ニ依ル分 右割引ノ方法ヲ以テ本月二十五日之ヲ發行セリ

〇大藏省告示第百二十一號 一大藏省證券額面貳千六拾萬圓

但明治三十八年法律第十七號ニ依ル分 仕拂期日 明治四十二年十一月二十五日

右割引ノ方法ヲ以テ本月二十五日之ヲ發行セリ 明治四十二年八月二十六日

〇大藏省告示第百二十二號 紛失ニ因リ效力ヲ失ヒタル記名國債證券ノ利札左ノ如シ

大藏大臣 侯爵桂太郎

明治四十二年八月二十六日

大藏大臣 侯爵桂太郎

證券種別	額面金	記號	番號	利子仕拂期	利金仕拂濟年月日
整理公債證券	百圓	〃	〃	明治四十年六月	明治四十二年四月二十三日
軍事公債證券	同	〃	〃	同四十年六月	同四十二年四月三十日
同	同	〃	〃	同四十年六月	同四十二年三月一日
同	同	〃	〃	同四十年六月	同四十二年四月二十三日
同	同	〃	〃	同四十年六月	同四十二年三月二十二日
同	同	〃	〃	同四十年六月	同四十二年四月二十九日
同	同	〃	〃	同四十年六月	同四十二年三月十九日

〇大藏省告示第百二十三號 無記名國債證券ノ利札紛失ニ對シ利金ヲ仕拂ヒタルモノノ左ノ如シ

明治四十二年八月二十六日 大藏大臣 侯爵桂太郎

證券種別	額面金	記號	番號	利子仕拂期	紛失届出年月日
大日本帝國政府五分利公債證券	百圓	〃	〃	自同三十六年十二月至同三十八年六月	同四十二年四月二日
同	同	〃	〃	同四十年六月	同四十二年三月二十三日
同	同	〃	〃	同四十年六月	同四十二年三月十一日

〇大藏省告示第百二十四號 仙臺稅務監督局管内佐沼稅務署ヲ明治四十二年八月二十八日宮城縣登米郡佐沼町九十番地ノ一ニ移ス

明治四十二年八月三十日 大藏大臣 侯爵桂太郎

證券種別	額面金	記號	番號	利子仕拂期	紛失届出年月日
軍事公債證券	百圓	〃	〃	明治三十五年十二月	明治三十六年七月九日
同	同	〃	〃	同三十七年十二月	同三十四年三月二十六日
同	同	〃	〃	同三十四年十二月	同三十五年八月二十八日
同	同	〃	〃	同三十五年六月	同三十五年十一月二十六日
同	同	〃	〃	同三十七年十二月	同三十七年十二月二日

〇大藏省告示第百二十五號 明治四十二年三月大藏省告示第五十號中小樽ノ欄派出所名ノ區ノ首位ニ「小樽本金庫札幌鐵道派出所」派出所位置ノ區ノ首位ニ「鐵道院北海道鐵道管理局構内」一行ヲ追加シ鐵道院函館出納事務所構内「下アル」鐵道院函館運輸事務所構内「下」鐵道院岩見澤出納事務所構内「下アル」鐵道院岩

明治四十二年八月 告示 大藏省第百二十三號 第百二十四號 第百二十五號 一五〇九

見澤運輸事務所構内「上」鐵道院旭川出納事務所構内「ト」アルヲ「鐵道院旭川運輸事務所構内」ト改メ
又同告示中左ノ一欄ヲ追加シ總テ明治四十二年九月一日ヨリ開始ス

明治四十二年八月三十一日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第三百二十六號

明治四十二年三月大藏省告示第四十四號中左ノ通改正シ明治四十二年九月十日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年八月三十一日

大藏大臣 侯爵桂太郎

熊本專賣支局門司出張所ノ欄ヲ削ル

三田尻專賣支局ノ欄ノ次ニ左ノ一欄ヲ加フ

三田尻專賣支局(福岡縣) 大分縣(玖珠郡日田郡下毛郡宇佐郡) 佐賀縣(東松浦郡西松浦郡)
門司出張所(ヲ除ク) 長崎縣(長崎郡上縣郡下縣郡)

○司法省告示第四十三號

東京地方裁判所管内東京區裁判所淀橋出張所ニ備ヘアリシ明治四十一年十月十四日受附第四九七一號名村壬午郎名村トモ間ノ土地賣買登記申請書一通紛失シタリ

明治四十二年八月三日

司法大臣 子爵岡部長職

大阪控訴院及大阪地方裁判所應舎本年七月三十一日類焼ニ付不取敢大阪區裁判所内ニ於テ各其事務ヲ取扱フ

明治四十二年八月三日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第四十五號

甲府地方裁判所管内甲府區裁判所熱見出張所ニ備ヘアル北巨摩郡清里村土地登記簿第三十五册登

記第七百一號乃至第七百五十號ノ用紙ハ滅失ノ虞アルヲ以テ不動産登記法第二十四條ニ依リ其登記ノ轉寫ヲ命シタリ

明治四十二年八月九日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第四十六號

長野地方裁判所管内大町區裁判所本月一日信濃國北安曇郡大町字九日町ノ新應舎ニ移轉セリ

明治四十二年八月十四日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第四十七號

樺太大泊築町一丁目四十二番地 倉庫營業者 大家七平

明治四十二年八月十四日

樺太真岡本町一丁目一番地 倉庫營業者 大家七平

右供託法第五條第一項ニ依リ指定ス

明治四十二年八月十四日

司法大臣 子爵岡部長職

○文部省告示第二百十八號

三重縣度會郡田丸町ニ農業學校規程乙種程度ニ依リ田丸町外三箇村組合立田丸農藝學校及徒弟學校規程ニ依リ田丸町外三箇村組合立田丸實業女學校ヲ設置シ明治四十二年九月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十二年八月四日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百十九號

實業學科教員暑期講習會商業科會場ヲ大阪府立北野中學校ニ變更ス

明治四十二年八月四日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百一十號
私立高水圖書館ヲ山口縣熊毛郡高水村大字樋口ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ
文部大臣 小松原英太郎
明治四十二年八月五日

○文部省告示第二百一十一號
千葉縣安房郡立安房高等女學校ヲ同縣安房郡北條町ニ設置シ明治四十二年九月ヨリ開校ノ件認可セリ
文部大臣 小松原英太郎
明治四十二年八月六日

○文部省告示第二百一十二號
明治三十六年文部省令第十四號專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ左記ノ者ヲ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定ス
文部大臣 小松原英太郎
明治四十二年八月六日

一兵庫縣私立關西學院普通科卒業者 但シ明治四十四年三月以後ノ卒業者ニ限ル
○文部省告示第二百一十三號
私立石川縣教育會附屬圖書館ヲ石川縣金澤市仙石町ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ
文部大臣 小松原英太郎
明治四十二年八月九日

○文部省告示第二百一十四號
河曲同窓會附屬圖書館ヲ三重縣河藝郡神戸町大字北新町ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ
文部大臣 小松原英太郎
明治四十二年八月十二日

○文部省告示第二百一十五號
町立可部文庫ヲ廣島縣安佐郡可部町立可部尋常小學校内ニ設置ノ件認可セリ
文部大臣 小松原英太郎
明治四十二年八月十三日

○文部省告示第二百一十六號

町立常滑圖書館ヲ愛知縣知多郡常滑町立常滑尋常高等小學校内ニ設置ノ件認可セリ
文部大臣 小松原英太郎
明治四十二年八月十三日

○文部省告示第二百一十七號

東京府東京市ニ私立日本齒科醫學專門學校ヲ專門學校令ニ依リ設置シ明治四十二年九月ヨリ開校ノ件認可セリ
文部大臣 小松原英太郎
明治四十二年八月十四日

○文部省告示第二百一十八號

沖繩縣立沖繩圖書館ヲ同縣那覇區字久茂地ニ設置ノ件認可セリ
文部大臣 小松原英太郎
明治四十二年八月二十二日

○文部省告示第二百一十九號

明治三十八年文部省告示第六十八號小學校教科用圖書翻刻發行規則第一條第六號ノ末ニ「及二册用卷一巻ニ」ヲ加フ
文部大臣 小松原英太郎
明治四十二年八月二十八日

○文部省告示第二百二十號

小學校教科用圖書翻刻發行規則ニ依リ翻刻發行ヲ許可スヘキ圖書中定價ヲ定ムルコト左ノ如シ
文部大臣 小松原英太郎
明治四十二年八月二十八日

○農商務省告示第三百二十九號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
農務大臣 男爵大浦兼武
明治四十二年八月二日

○農商務省告示第三百四十號
森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
明治四十二年八月三日

縣	郡	村	大字	字	地番	面積
群馬	利根	桃野	小川村	大峰	三四二〇	畝歩
同	同	同	同	淵尻	一五二六	畝歩
高知	長岡	三里	大字	字	地番	面積
			種崎	(千本松)	八六五	畝歩
					八七〇	畝歩
					二二八六	畝歩
					二二九二	畝歩

○農商務省告示第三百四十一號
漁獵職員試験規程左ノ通改正ス
明治四十二年八月四日

農商務大臣 男爵大浦兼武
農商務大臣 男爵大浦兼武

漁獵職員試験規程

- 第一條 漁獵職員試験ハ本規程ニ依リ之ヲ行フ
- 第二條 漁獵職員試験志願者ニハ別表丙號ニ依リ體格検査ヲ行フ
前項ノ體格検査ニ合格シタル者ニハ更ニ學術試験ヲ行フ但シ場合ニ依リテハ實地試験ヲモ行フ
コトアルヘシ
- 第三條 學術試験ノ科目ハ左ノ如シ
一 漁獵
二 航海術
三 漁船運用術
四 其ノ他試験委員ニ於テ必要ト認メタル事項

漁獵ニ關スル試験ニ付テハ志願者ハ別表甲號ノ種類中一種以上ヲ選擇シ之ヲ試驗願書ニ附記ス
ヘシ

第四條 前條第二項ニ依リ選擇シタル種類ノ合格、不合格ハ各種毎ニ之ヲ定ム

漁獵職員免狀ヲ有スル者ハ既ニ合格シタル以外ノ他種ノ漁獵ニ付試験ヲ受クルコトヲ得

前項ノ志願者及海技免狀ヲ有スル志願者ニ付テハ前條第一項第二號、第三號ノ試験ヲ省略スル
コトヲ得

第五條 學術試験ハ別表乙號ノ項目ニ付甲種漁獵長試験及乙種漁獵長試験ニ在リテハ筆記及口述
ノ方法ニ依リ丙種漁獵長試験及漁獵手試験ニ在リテハ口述ノ方法ニ依リ之ヲ行フ

實地試験ハ漁船運用、漁獵具ノ構成又ハ使用ニ付之ヲ行フ

第六條 漁獵職員試験期日及場所ハ官報ヲ以テ之ヲ公告ス

第七條 漁獵職員試験委員ハ其ノ都度農商務大臣之ヲ命ス

第八條 不正ノ方法ヲ以テ合格シタルトキハ合格ノ效ナキモノトス

別表

(甲號)

帆船漁業	汽船漁業	帆船漁業	汽船漁業
汽船流網漁業	帆船流網漁業	汽船流網漁業	帆船流網漁業
帆船トロール漁業	汽船延繩漁業	帆船トロール漁業	汽船延繩漁業
汽船一本釣漁業	帆船一本釣漁業	汽船一本釣漁業	帆船一本釣漁業
帆船鰹釣漁業		汽船鰹釣漁業	

(乙號)	
<p>甲種 漁獵長試驗</p> <p>一 漁獵物ノ種類、習性及 漁場ノ特長及設備 二 漁獵船ノ構造及設備 三 漁獵具及漁獲物處理具 ノ構成及用法 四 漁獲物處理法 航海術</p>	<p>乙種 漁獵長試驗</p> <p>一 航海日誌ノ取裁 二 航海日誌ノ算法 三 羅針儀及海圖ノ用法</p>
<p>一 總算航法 二 漸長經度航法 三 流潮航法 四 航海日誌算法 五 太陽ノ子午線高度又ハ 子午線ニ近キ高度ニ依 ル緯度ノ算法 六 太陽ノ出沒方位及方位 角ニ依ル羅針差ノ算 法 七 時辰儀及太陽ノ高度ニ 依ル緯度及時辰儀差 ノ算法 八 兩時辰儀法ニ依ル緯 度ノ算法 九 潮時算法 十 六分儀ノ矯正及用法 十一 羅針儀ノ遠近解明 十二 羅針儀自差ノ測定及算 法 十三 海圖ノ用法</p>	<p>丙種 漁獵長試驗</p> <p>一 漁獵船ノ設備 二 漁獵具ノ構成及用法 三 漁獲物處理法 一 羅針儀及海圖ノ用法 二 羅針儀及海圖ノ用法 一 羅針儀及海圖ノ用法 一 羅針儀及海圖ノ用法</p>

(丙號)	
<p>漁船運用術</p> <p>一 橋帆架及帆ノ取扱 二 測程具及測深具ノ解明 其ノ用法 三 船其ノ他器具ノ取扱 汽船ノ常時及荒天運用 法 四 汽船ノ常時及荒天運用 法 五 航海中船具ノ破損其ノ 他不慮ノ事變ニ際スル 應急ノ處置 六 暴風大意及避難法 七 海上衝突豫防法 八 萬國船舶信號法 九 萬國船舶信號法</p>	<p>一 橋帆架及帆ノ取扱 二 測程具及測深具ノ解明 其ノ用法 三 船其ノ他器具ノ取扱 汽船ノ常時及荒天運用 法 四 汽船ノ常時及荒天運用 法 五 航海中船具ノ破損其ノ 他不慮ノ事變ニ際スル 應急ノ處置 六 暴風大意及避難法 七 海上衝突豫防法 八 萬國船舶信號法 九 萬國船舶信號法</p>
<p>一 眼ノ現狀 二 視力 三 辨色 四 耳ノ現狀 五 聽覺 六 體格 七 疾病</p>	<p>一 眼ノ現狀 二 視力 三 辨色 四 耳ノ現狀 五 聽覺 六 體格 七 疾病</p>

○農商務省告示第三百四十二號
青森大林區署管内喜良市小林區署廳舍明治四十二年七月七日火災ニ罹リ同署へ提出中ノ民願書等
焼失シタルニ付明治四十二年九月三十日マテニ更ニ同署へ提出スヘシ

農商務大臣 男爵大浦兼武

<p>漁業權者 三重縣南牟婁郡新鹿村大字新鹿 新鹿浦漁業組合</p> <p>鮑 龍蝦刺網漁業 龍蝦磯魚 鮑 鮑刺網漁業 鮑磯魚 磯打刺網漁業 磯魚 鮑 鮑刺網漁業 鮑磯魚 石花菜漁業 石花菜 海菜漁業 海菜 免許番號 第二一三六號 漁場ノ位置 三重縣南牟婁郡新鹿村大字新鹿 根浦大字古江浦大字貫田ノ地先 條件又ハ制 既ニ免許ヲ受ケタル小敷瀬ノ地先 免許事項 既ニ免許ヲ受ケタル小敷瀬ノ地先 代表者 三重縣南牟婁郡新鹿村大字新鹿 根浦浦漁業組合</p>	<p>免許番號 第二一三七號 漁場ノ位置 三重縣南牟婁郡北輪内村大字三 木浦ノ地先字海崎ヨリ金屋崎マナラ除ク 條件又ハ制 既ニ免許ヲ受ケタル海脈漁業ノ 坊クヘカラス 漁業權者 三重縣南牟婁郡北輪内村大字三 木浦三木浦漁業組合</p> <p>鮑 龍蝦刺網漁業 龍蝦磯魚 鮑 鮑刺網漁業 鮑磯魚 免許番號 第二一三八號 漁場ノ位置 三重縣南牟婁郡北輪内村大字三 木浦ノ内字海崎ヨリ金屋崎ニ至ル間ノ地先 代表者 三重縣南牟婁郡北輪内村大字三 木浦三木浦漁業組合</p>	<p>免許番號 第二一三九號 漁場ノ位置 三重縣南牟婁郡北輪内村大字新鹿 浦ノ地先 漁業權者 三重縣南牟婁郡新鹿村大字新鹿 浦浦漁業組合</p> <p>鮑 龍蝦刺網漁業 龍蝦磯魚 鮑 鮑刺網漁業 鮑磯魚 免許番號 第二一四〇號 漁場ノ位置 三重縣南牟婁郡北輪内村大字三 木里浦大字名柄及小島ノ地先 漁業權者 三重縣南牟婁郡北輪内村大字三 木里浦三木里浦漁業組合</p> <p>鮑 龍蝦刺網漁業 龍蝦磯魚 鮑 鮑刺網漁業 鮑磯魚 免許番號 第二一四一號 漁場ノ位置 三重縣南牟婁郡北輪内村大字松 松浦ノ地先 漁業權者 三重縣南牟婁郡北輪内村大字松 松浦浦漁業組合</p>	<p>鮑 龍蝦刺網漁業 龍蝦磯魚 鮑 鮑刺網漁業 鮑磯魚 免許番號 第二一四二號 漁場ノ位置 三重縣南牟婁郡北輪内村大字三 木浦境ヨリ同村盛松浦三木浦字ラリノ地先 ニ至ル盛松浦ノ地先</p>
---	---	--	---

<p>條件又ハ制 既ニ免許ヲ受ケタル夏大敷瀬漁 業ヲ坊クヘカラス 代表者 三重縣南牟婁郡北輪内村大字三 木浦三木浦漁業組合</p> <p>鮑 龍蝦刺網漁業 龍蝦磯魚 鮑 鮑刺網漁業 鮑磯魚 免許番號 第二一四三號 漁場ノ位置 三重縣南牟婁郡北輪内村大字新鹿 浦ノ地先 漁業權者 三重縣南牟婁郡北輪内村大字新鹿 浦浦漁業組合</p> <p>鮑 龍蝦刺網漁業 龍蝦磯魚 鮑 鮑刺網漁業 鮑磯魚 免許番號 第二一四四號 漁場ノ位置 三重縣南牟婁郡北輪内村大字新鹿 浦ノ地先 漁業權者 三重縣南牟婁郡北輪内村大字新鹿 浦浦漁業組合</p> <p>鮑 龍蝦刺網漁業 龍蝦磯魚 鮑 鮑刺網漁業 鮑磯魚 免許番號 第二一四五號 漁場ノ位置 三重縣南牟婁郡北輪内村大字波田 須字二子崎ヨリ新鹿村境村界ニ至ル間 ノ地先 代表者 三重縣南牟婁郡北輪内村大字波田 須字二子崎ヨリ新鹿村境村界ニ至ル間 ノ地先</p>	<p>海菜漁業 海菜 免許番號 第二一四六號 漁場ノ位置 三重縣南牟婁郡新鹿村大字新鹿 浦ノ地先 漁業權者 三重縣南牟婁郡新鹿村大字新鹿 浦浦漁業組合</p> <p>鮑 龍蝦刺網漁業 龍蝦磯魚 鮑 鮑刺網漁業 鮑磯魚 免許番號 第二一四七號 漁場ノ位置 三重縣南牟婁郡新鹿村大字波田 須字二子崎ヨリ新鹿村境村界ニ至ル間 ノ地先 代表者 三重縣南牟婁郡新鹿村大字波田 須字二子崎ヨリ新鹿村境村界ニ至ル間 ノ地先</p>	<p>鮑 龍蝦刺網漁業 龍蝦磯魚 鮑 鮑刺網漁業 鮑磯魚 免許番號 第二一四八號 漁場ノ位置 三重縣南牟婁郡新鹿村大字波田 須字二子崎ヨリ新鹿村境村界ニ至ル間 ノ地先 代表者 三重縣南牟婁郡新鹿村大字波田 須字二子崎ヨリ新鹿村境村界ニ至ル間 ノ地先</p> <p>鮑 龍蝦刺網漁業 龍蝦磯魚 鮑 鮑刺網漁業 鮑磯魚 免許番號 第二一四九號 漁場ノ位置 三重縣南牟婁郡新鹿村大字波田 須字二子崎ヨリ新鹿村境村界ニ至ル間 ノ地先 代表者 三重縣南牟婁郡新鹿村大字波田 須字二子崎ヨリ新鹿村境村界ニ至ル間 ノ地先</p>	<p>鮑 龍蝦刺網漁業 龍蝦磯魚 鮑 鮑刺網漁業 鮑磯魚 免許番號 第二一五〇號 漁場ノ位置 三重縣南牟婁郡新鹿村大字波田 須字二子崎ヨリ新鹿村境村界ニ至ル間 ノ地先 代表者 三重縣南牟婁郡新鹿村大字波田 須字二子崎ヨリ新鹿村境村界ニ至ル間 ノ地先</p>
--	--	---	--

○農商務省告示第三百四十六號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十二年八月九日

縣	郡	村	大字	字	農商務大臣	男爵大浦兼武	地番	面積
和歌山	海南	西山東	境原	芋谷	大分	大分	六〇六	町段計 六〇三
同	同	西平妻	小川	細川	二〇三	二〇三	七〇〇	町段計 七〇〇
同	同	東平妻	里川	家ノ奥	二七二	二七二	七〇八	町段計 七〇八
同	同	明神	立合川	明生谷	五四一	五四一	三三二	町段計 三三二
同	同	龜川	同	山出	五〇〇	五〇〇	六四二	町段計 六四二
同	同	近野	巨來	大地谷	一三〇	一三〇	四〇〇	町段計 四〇〇
同	同	栗橋川	道湯川	平原	八五八	八五八	一〇三三	町段計 一〇三三
同	同	栗橋川	小森川	栗栖	四二二	四二二	七九二	町段計 七九二
同	同	小川	小森川	栗栖	四二二	四二二	一六一九	町段計 一六一九

○農商務省告示第三百四十七號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十二年八月十一日

縣	郡	村	大字	字	農商務大臣	男爵大浦兼武	面積	所有者
愛媛	南宇和	内海	大字	字	由良山	町段計 七三五二	一一六	國

○農商務省告示第三百四十八號

森林法ニ依リ保安林解除ニ關シ高知縣知事ニ於テ告示シタル左記ノ保安林ハ之ヲ解除セス

明治四十二年八月十一日

縣	郡	町村	字	地番	告示面積	所有者
高知	安藝	佐喜濱	佐手尻 (原野村)	四九四二	町段計 二二九	植村 永十郎
同	高岡	興津	島口濱林	二二〇九 二二一〇 二二一一	町段計 四九九	興津 村

○農商務省告示第三百四十九號

明治四十二年八月五日專用漁業權ニ關シ左記變更ノ登録ヲナセリ

明治四十二年八月十一日

免許番號第一五〇五號
漁業權者ノ代表者宮本十郎右衛門死亡ニ因リ明治四十二年四月十五日山口縣佐波郡宮海村第四百五十番屋敷關谷榮太郎ニ變更ス

○農商務省告示第三百五十號

明治四十二年八月五日左記事項ヲ免許漁業原簿ニ登録セリ

免許年月日	讓渡年月日	農商務大臣	男爵大浦兼武
明治四十一年七月三日 免許第一〇〇〇號	明治四十二年四月三十日	大分縣北海部郡佐志生村二千九百六十六番地ノ一	松井 政子 大分縣北海部郡佐志生村九十九番地 代表者 戸上 照吉

○農商務省告示第三百五十一號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十二年八月十四日

縣	郡	町村	字	地番	告示面積	所有者
高知	安藝	佐喜濱	佐手尻 (原野村)	四九四二	町段計 二二九	植村 永十郎
同	高岡	興津	島口濱林	二二〇九 二二一〇 二二一一	町段計 四九九	興津 村

明治四十二年八月 告示 農商務省第三百五十四號

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
八〇	七九	七八	七六	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九	六八	六七	六六	六五	六四	六三	六二	六一	六〇
九〇六	八〇〇	七〇〇	六〇〇	五〇〇	四〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
森四郎兵衛	安田才右衛門	吉川與兵衛	安田才右衛門	森四郎兵衛	木村利兵衛	竹內利兵衛	橋本喜助	藤田圓正	谷島彦七	安田才右衛門	桑村惣八	吉川與兵衛	安田才右衛門	安田才右衛門	安田才右衛門	安田才右衛門	安田才右衛門	安田才右衛門	安田才右衛門
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
森川茂右衛門	高石傳三郎	木村利平	伊藤玉吉	荒川嘉右衛門	高石傳三郎	竹山源右衛門	村中武兵衛	河合榮藏	谷口為藏	村中榮藏	田中榮吉	田中榮吉	谷口為藏	田中榮藏	橋山仁三郎	高石傳三郎	谷口為藏	竹山源右衛門	田中榮吉
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
六〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
谷口為藏	安田才右衛門	谷口為藏	木村仁松	村中武兵衛	山本長三郎	荒川正生	竹山源右衛門	久木守兵衛	竹山源右衛門	川垣庄三郎	木村仁松	竹山源右衛門	山口茂三郎	高石傳三郎	大谷源藏	山口茂三郎	高石傳三郎	山口茂三郎	高石傳三郎

一五四一

明治四十二年八月 告示 農商務省第三百五十四號

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
森川茂右衛門	高石傳三郎	木村利平	伊藤玉吉	荒川嘉右衛門	高石傳三郎	竹山源右衛門	村中武兵衛	河合榮藏	谷口為藏	村中榮藏	田中榮吉	田中榮吉	谷口為藏	田中榮藏	橋山仁三郎	高石傳三郎	谷口為藏	竹山源右衛門	田中榮吉
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
六〇〇	三〇〇	二〇〇	一〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
谷口為藏	安田才右衛門	谷口為藏	木村仁松	村中武兵衛	山本長三郎	荒川正生	竹山源右衛門	久木守兵衛	竹山源右衛門	川垣庄三郎	木村仁松	竹山源右衛門	山口茂三郎	高石傳三郎	大谷源藏	山口茂三郎	高石傳三郎	山口茂三郎	高石傳三郎

一五四〇

○農商務省告示第三百六十號
 森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス
 明治四十二年八月三十一日
 農商務大臣 男爵大浦兼武

青森 縣 東津輕 野内 大字 字 番地
 同 中平内 野内 鈴森 二九一
 同 小湊 前茂 三六二

長野 縣 下伊那 村 字 番地
 同 清内路 同 宮 二四二
 同 同 二四三
 同 同 二四四

○逓信省告示第七百十二號
 明治三十六年勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス
 明治四十二年八月三日
 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百十三號
 郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ
 明治四十二年八月三日
 逓信大臣 男爵後藤新平

愛媛縣北宇和郡愛治村

香港洋銀	銀
一ダラー	八五・五〇〇
一セント	八五五
一ダラー	八四七・五〇
一セント	八四八

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ通

○逓信省告示第七百十四號
 帆船廣福丸外七十四艘ニ左ノ信號符字ヲ點附ス
 明治四十二年八月三日

信號符字	番號	種類	船名	船籍	所有者
L	一一	帆船	廣福丸	廣島	船橋三郎
D	一一	帆船	廣福丸	廣島	船橋三郎
W	一一	帆船	廣福丸	廣島	船橋三郎
R	一一	帆船	廣福丸	廣島	船橋三郎
...

逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十二年八月 告示 選定第七百十四號

L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L
H	H	H	H	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J
G	G	G	G	W	W	V	V	V	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K	K	H
V	T	S	R	C	B	W	T	S	W	V	T	S	R	Q	P	N	M	H	G	F
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
四	四	四	四	四	三	三	三	三	三	八	八	八	八	七	七	七	七	七	七	六
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五	三	二	一	八	七	六	四	三	二	一	〇	九	八	七	六	四	三	一	〇	九
帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆
觀	八	共	寶	大	瀨	大	住	神	朝	金	權	日	第	住	宮	第	悅	天	大	第
光	輔	榮	來	福	吉	福	福	力	日	現	〇	現	現	現	現	現	現	現	現	現
丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸
阿	阿	阿	阿	安	安	安	安	安	伊	伊	伊	伊	伊	伊	伊	伊	伊	伊	伊	伊
波	波	波	波	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國
見	見	見	見	能	能	能	能	能	能	能	能	能	能	能	能	能	能	能	能	能
林	林	林	林	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村
波	東	高	高	五	五	公	松	大	矢	宮	朝	豐	沖	宮	小	小	久	水	築	增
邊	島	島	島	十	十	受	浦	西	野	野	見	武	永	仁	野	保	浦	地	村	中
源	德	德	德	川	川	福	外	作	宇	宇	多	市	市	市	野	野	船	速	久	井
茂	次	次	次	太	太	太	太	太	三	三	尾	尾	尾	尾	尾	尾	合	太	幸	幸
茂	吉	吉	吉	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎

一五五九

明治四十二年八月 告示 選定第七百十四號

L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	
J	J	J	J	H	H	H	H	H	J	J	J	J	J	J	J	H	J	J	J	J	
H	H	H	H	W	F	F	F	M	M	Q	Q	Q	P	P	C	C	C	V	V	V	
V	T	S	R	S	D	C	B	G	F	W	V	T	V	T	Q	P	Q	P	N	M	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	
四	三	二	一	六	〇	九	八	四	三	八	七	六	二	一	七	三	二	〇	九	八	
帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	帆	
大	龍	若	金	誠	住	靜	藤	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	
福	吉	吉	得	吉	新	東	福	通	盛	進	吉	寶	德	賀	典	榮	切	宮	川	輔	
丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸
伊	伊	周	周	武	東	下	紀	大	土	土	土	駿	駿	周	周	安	安	安	安	廣	
國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國
川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川
之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之
石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石
村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村
兵	今	大	西	中	原	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤
頭	泉	上	木	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之	之
吉	德	右	幸	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖	湖
五	三	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛
耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶	耶

一五五八

○逓信省告示第七百十五號

臺灣及韓國ニ於テ料金受信人拂外國新聞電報ヲ取扱フ通信官署名左ノ如シ
明治四十二年八月四日
逓信大臣 男爵後藤新平

臺灣 臺北郵便局

韓國 京城郵便局

○逓信省告示第七百十六號

本月十一日ヨリ左記郵便局ノ電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十九年六月逓信省令第二十五號電話規則ニ依リ加入申込書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス
明治四十二年八月五日
逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 飯田郵便局

位 置 長野縣下伊那郡飯田町

○逓信省告示第七百十七號

明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號電話加入登記料、電話使用料、名義書換料及電話番號簿掲載料ニ關スル土地種別中丙地「山口」ノ次ニ左記箇所ヲ追加ス
明治四十二年八月五日
逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 飯田

位 置 長野縣下伊那郡飯田町

○逓信省告示第七百十八號

明治三十年十二月逓信省告示第三百五十七號電話加入區域中「山口」ノ次ニ左ノ追加ス
明治四十二年八月五日
逓信大臣 男爵後藤新平

局 名 普通 加入 區域

特 別 加入 區域

飯 田 長野縣下伊那郡飯田町、上飯田村字西裏、村大字野字切石、同上茶屋、同下茶屋、同下ノ平松尾村大字松尾字上溝、同久井、同八幡、同代田、上郷村大字黒田字下黒田、同高松、同川底、大字別府字川底

○逓信省告示第七百十九號

明治四十一年三月逓信省告示第二百四十四號電話呼出地域ヲ左ノ通改正シ本月十一日ヨリ施行ス
明治四十二年八月五日
逓信大臣 男爵後藤新平

一 近江國滋賀郡石山村大字寺邊

○逓信省告示第七百二十號

本月四日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス
明治四十二年八月五日
逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 大阪天満郵便局

現 位 置 大阪市北區南森町

移 轉 位 置 大阪市北區旅籠町

○逓信省告示第七百二十一號

本月六日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス
明治四十二年八月五日
逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱

位 置

名 稱

位 置

天下茶屋郵便局

大阪府東成郡天王寺村

田原本郵便局

奈良縣磯城郡田原本町

平野郵便局

大阪府東成郡平野郷町

三輪郵便局

奈良縣高市郡高取町

吹田郵便局

大阪府三島郡吹田町

高取郵便局

和歌山縣海草郡日方町

茨木郵便局

大阪府東成郡茨木町

日方郵便局

和歌山縣那賀郡粉河町

今福郵便局

大阪府東成郡江村

粉河郵便局

和歌山縣伊都郡妙寺村

櫻井郵便局

奈良縣磯城郡櫻井町

妙寺郵便局

和歌山縣伊都郡妙寺村

○逓信省告示第七百二十二號

明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ追加、改訂シ本月六日ヨリ施行ス
明治四十二年八月五日
逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱

位 置

名 稱

位 置

天下茶屋郵便局

大阪府東成郡天王寺村

田原本郵便局

奈良縣磯城郡田原本町

平野郵便局

大阪府東成郡平野郷町

三輪郵便局

奈良縣高市郡高取町

吹田郵便局

大阪府三島郡吹田町

高取郵便局

和歌山縣海草郡日方町

茨木郵便局

大阪府東成郡茨木町

日方郵便局

和歌山縣那賀郡粉河町

今福郵便局

大阪府東成郡江村

粉河郵便局

和歌山縣伊都郡妙寺村

櫻井郵便局

奈良縣磯城郡櫻井町

妙寺郵便局

和歌山縣伊都郡妙寺村

(追加)

監督局 開設局

大阪	天下茶屋	大阪府	東成郡	天王寺村	大字 天王寺	城	字天下茶屋 同聖天 山同東松田 同西松 田同中ノ森下 字阿部野 同北山 字阿部野 同北山 供料 同柳山 同御
大阪府	東成郡	西成郡	今勝宮村	同 阿部野			
大阪府	東成郡	中河内郡	加美村	大字 正覺寺			
大阪府	東成郡	西成郡	千田村	同 鞍作			
大阪府	東成郡	三島郡	吹田村	同 鞍作			
大阪府	東成郡	西成郡	新庄村	同 鞍作			
大阪府	東成郡	西成郡	豐島村	大字 片山			
大阪府	東成郡	西成郡	中道村	大字 片山			
大阪府	東成郡	西成郡	道村	大字 片山			
大阪府	東成郡	西成郡	道村	大字 片山			

大阪府	東成郡	三島郡	天王寺村	大字 天王寺	城	字天下茶屋 同聖天 山同東松田 同西松 田同中ノ森下 字阿部野 同北山 字阿部野 同北山 供料 同柳山 同御	
大阪府	東成郡	西成郡	今勝宮村	同 阿部野			
大阪府	東成郡	中河内郡	加美村	大字 正覺寺			
大阪府	東成郡	西成郡	千田村	同 鞍作			
大阪府	東成郡	三島郡	吹田村	同 鞍作			
大阪府	東成郡	西成郡	新庄村	同 鞍作			
大阪府	東成郡	西成郡	豐島村	大字 片山			
大阪府	東成郡	西成郡	中道村	大字 片山			
大阪府	東成郡	西成郡	道村	大字 片山			
大阪府	東成郡	西成郡	道村	大字 片山			

熊 本 大 牟 田	(改訂)	同	和歌山縣	海草郡	日方町	同	下子島	同	清水谷	字清水谷 同上辻同坂本
		同	和歌山縣	那賀郡	粉河町	大字 島居	同	藤白	同	字橋爪 同濱同堂阪
		同	和歌山縣	伊都郡	妙寺村	大字 新田	同	妙新	同	字南出 同北出
同	(改訂)	同	福岡縣	三池郡	大牟田町	同	大字 大牟田	同	大字 下里	字築町 同橋口町同魚町 同上宮同有明町 同小島 同七浦 同長山 同七浦 同池田 同下田 同新道 同下田 同新道 同大坂 同同八
		同	同	同	同	同	同	同	同	同
		同	同	同	同	同	同	同	同	同

同	別府	大分縣	速見郡	別府町	同	三池町	同	三池	池(字赤山、同八角目ヲ除ク)
					同	三川村	同	三川	水(字大谷、同梅谷ヲ除ク)
					同	駿馬村	同	三川	字水尻 同諏訪 字加納 同早米來 字七浦 同宮ノ原 同
同	別府	大分縣	速見郡	別府町	同	大字 別府	同	大字 別府	字小野 同小平 同榎林 同竹ノ脇 同除ク
					同	大字 別府	同	大字 別府	字小野 同小平 同榎林 同竹ノ脇 同除ク
					同	大字 別府	同	大字 別府	字小野 同小平 同榎林 同竹ノ脇 同除ク

(刪除)

住吉局加入區域中大阪府東成郡住吉村字藪山同柿山同御供料ヲ刪除ス

○逓信省告示第七百二十三號 明治三十年十二月 逓信省告示第三百五十七號電話加入區域中左記ノ箇所ヲ刪除シ本月六日ヨリ施行ス

明治四十二年八月五日 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百二十四號 明治三十九年六月 逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通道

加シ本月六日ヨリ施行ス 逓信大臣 男爵後藤新平

監督局	開設局	佐賀縣	三養基郡	島栖町	大字	島栖	木	字村添同藤木同東浦如同古野字今泉同真木
		佐賀縣	佐賀郡	東川副村	同	真木	木	字本村同津同江越同橋津
		佐賀縣	東川副村	同	同	同	同	同
		佐賀縣	東川副村	同	同	同	同	同
		佐賀縣	東川副村	同	同	同	同	同
		佐賀縣	東川副村	同	同	同	同	同
		佐賀縣	東川副村	同	同	同	同	同
		佐賀縣	東川副村	同	同	同	同	同
		佐賀縣	東川副村	同	同	同	同	同
		佐賀縣	東川副村	同	同	同	同	同

○逓信省告示第七百二十七號
 本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲ取扱フ

明治四十二年八月七日
 名 稱 白杵郵便局
 位 置 大分縣北海部郡白杵町
 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百二十八號
 本月十一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十二年八月九日
 名 稱 湯澤郵便局
 位 置 秋田縣雄勝郡湯澤町
 逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百二十九號
 明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通過加ス
 逓信大臣 男爵後藤新平

監督局	開設局	秋田縣	雄勝郡湯澤町(字山谷同中山谷同上山谷ヲ除ク)	入 區	三 閉 村 大字 関 口	同	杉 澤 同 杉 澤 新 處	城
青 森 縣	湯 澤							

○逓信省告示第七百三十號
 明治四十二年六月逓信省告示第六百七號外國電報料金表第二表 Asia(亞細亞地方)ノ部中 Russia in Asia(亞細亞露西亞)ノ項ノ下「浦鹽斯德線又ハ「キアクタ」線」經過料金〇・八六〇ヲ「一・〇一〇」ト改正ス

明治四十二年八月十日
 ○逓信省告示第七百三十一號
 明治三十年十月逓信省告示第三百五十七號電話加入區域中左ノ通過加シ本月十六日ヨリ施行ス

明治四十二年八月十日
 津山局特別加入區域二宮村(字西山畑)ノ次ニ
 久米郡福岡村大字横山(字龍ヶ爪ヲ除ク)

○逓信省告示第七百三十二號
 郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

米 貨	一ダラー	二〇・一七	一圓ニ付四十九セント六四六
一セント	一一・〇四		
一ダラー	八五・四一七		
一セント	八・五四		
香港洋銀	一セント		一圓ニ付一〇七・七三
			八五・四

逓信大臣 男爵後藤新平

墨	一ダラー	八四八三三	一圓二付
銀	一セント	八四八	八七八

○逓信省告示第七百三十三號
本日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十二年八月十一日

位 置 靜岡縣藤原郡金谷町

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百三十四號

明治三十三年八月八日逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通過加シ本日ヨリ施行ス

明治四十二年八月十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百三十五號

明治三十九年八月六日逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通過加ス

明治四十二年八月十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外	一通話料	金六十錢	加入區域外	一通話料	金六十錢
長金谷東京間	電話呼出料	金二十錢	長金谷東京間	電話呼出料	金二十錢
長金谷橫濱間	電話呼出料	金二十錢	長金谷橫濱間	電話呼出料	金二十錢
長金谷江尻間	電話呼出料	金二十錢	長金谷江尻間	電話呼出料	金二十錢
長金谷清水間	電話呼出料	金二十錢	長金谷清水間	電話呼出料	金二十錢
長金谷静岡間	電話呼出料	金二十錢	長金谷静岡間	電話呼出料	金二十錢
長金谷藤枝間	電話呼出料	金二十錢	長金谷藤枝間	電話呼出料	金二十錢
長金谷島田間	電話呼出料	金二十錢	長金谷島田間	電話呼出料	金二十錢
長金谷焼津間	電話呼出料	金二十錢	長金谷焼津間	電話呼出料	金二十錢

○逓信省告示第七百三十六號
本月十一日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十二年八月十二日

位 置 愛知縣幡豆郡西尾町

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百三十七號

本月十五日限リ左記電信取扱所ヲ廢止ス但シ當該取扱所ニ於テ取扱ロタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十二年八月十二日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱	位 置	承繼局名
栗山電信取扱所	北海道石狩國夕張郡角田村	栗山郵便局
早來電信取扱所	北海道釧路國勇拂郡安平村	早來郵便局
奈井江電信取扱所	北海道石狩國空知郡砂川村	奈井江郵便局
妹背牛電信取扱所	北海道石狩國雨龍郡深川村	妹背牛郵便局
幌内電信取扱所	北海道石狩國空知郡三笠山村	幌内炭山郵便局

○逓信省告示第七百三十八號

明治三十六年三月勅令第四十一號ニ基ク請願ニ依リ本月十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十二年八月十三日

位 置 島根縣飯石郡古志村

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百三十九號

青森縣陸奥國下北郡尻矢崎燈臺ニ設置ノ霧笛ハ當分ノ内吹鳴ヲ停止ス

明治四十二年八月十三日

逓信大臣 男爵後藤新平

明治四十二年八月 告示 逓信省第七百三十六號 第七百三十七號 第七百三十八號 第七百三十九號

○逓信省告示第七百四十號
 明治三十九年八月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通道加シ本月十六日ヨリ施行ス

明治四十二年八月十四日

加入區域外 通話區域	逓信大臣 男爵後藤新平
電話料	一 同ノ電
金十五錢	電話呼出料
諸富者津間	金五錢
	金五錢

○逓信省告示第七百四十一號

本月十六日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差込スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十二年八月十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

二木松郵便局 福島縣安達郡二木松町 新庄郵便局 山形縣最上郡新庄町
 東山郵便局 福島縣北會津郡東山村 水澤郵便局 巖手縣巖手郡水澤町
 川俣郵便局 福島縣伊達郡川俣町 大館郵便局 秋田縣北秋田郡大館町

○逓信省告示第七百四十二號

明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通道加ス

明治四十二年八月十四日

逓信大臣 男爵後藤新平

監督局 開設局
 仙臺 二本松 福島縣 安達郡 入
 東山 福島縣 北會津郡 東山村 大字 湯 不
 油井 巖手縣 川俣町 大字 成 田 湯 不
 嶽 下 巖手縣 湯 澤町 大字 湯 不
 大字 湯 不

同 川俣 福島縣 伊達郡 川俣町	同 山形縣 最上郡 新庄町	同 岩手縣 陸澤郡 水澤町	同 秋田縣 北秋田郡 大館町	同 同 同 同 同 同 同 同
同 新庄 福島縣 伊達郡 新庄町	同 山形縣 最上郡 新庄町	同 岩手縣 陸澤郡 水澤町	同 秋田縣 北秋田郡 大館町	同 同 同 同 同 同 同 同
同 川俣 福島縣 伊達郡 川俣町	同 山形縣 最上郡 新庄町	同 岩手縣 陸澤郡 水澤町	同 秋田縣 北秋田郡 大館町	同 同 同 同 同 同 同 同
同 大館 秋田縣 北秋田郡 大館町	同 岩手縣 陸澤郡 水澤町	同 巖手縣 陸澤郡 水澤町	同 秋田縣 北秋田郡 大館町	同 同 同 同 同 同 同 同
同 同 同 同 同 同 同 同	同 同 同 同 同 同 同 同	同 同 同 同 同 同 同 同	同 同 同 同 同 同 同 同	同 同 同 同 同 同 同 同

同 五日市町 (字小泉同月同小月) 同 十日町 (野同梅ヶ崎ヲ除ク) 同 湯 澤町 (字山屋、同大福田同關屋、同梨木同新五小) 同 湯 澤町 (字山屋、同大福田同關屋、同梨木同新五小) 同 湯 澤町 (字山屋、同大福田同關屋、同梨木同新五小)

○逓信省告示第七百四十三號
本年六月逓信省告示第六百六號聖彼得爾堡萬國電信條約書附屬國際業務規則第二十七條第四項中左ノ通告正ス

明治四十二年八月十七日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百四十四號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スベキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

明治四十二年八月十七日

逓信大臣 男爵後藤新平

品名	米		香港洋銀		墨銀	
	一ダラー	一セント	一ダラー	一セント	一ダラー	一セント
米	二〇一・五	二〇・一五	八五・〇〇	八・五	八五・〇〇	八・五〇
香港洋銀	一圓二付四十九・九	一圓二付九・五九	一圓二付九・五九	一圓二付九・五九	一圓二付九・五九	一圓二付九・五九
墨銀	一圓二付四十九・九	一圓二付九・五九	一圓二付九・五九	一圓二付九・五九	一圓二付九・五九	一圓二付九・五九

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ通

○逓信省告示第七百四十五號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス

明治四十二年八月十八日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 現在位置
福岡湊町郵便局 福岡市南湊町

移 轉 位 置
福岡市荒戸町(福岡市)

○逓信省告示第七百四十六號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信及電話通話事務ヲ開始ス

明治四十二年八月二十日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 横山郵便局

位 置 山形縣東田川郡横山村

○逓信省告示第七百四十七號

明治三十三年ハ逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通告加シ本月二十一日ヨリ施行ス

明治四十二年八月二十日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百四十八號

羽前國西田川郡大寶寺村ノ項ノ次ニ

羽前國東田川郡横山村大字横山(宇土橋、同三本木、同荒島ヲ除ク)

羽前國西田川郡大寶寺村大字文下(宇赤瀬ヲ除ク)

明治三十九年ハ逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通告加ス

明治四十二年八月二十日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外
通話料 電話呼出料
金 十 銭 金 十 銭
金 十 銭 金 十 銭

○逓信省告示第七百四十九號

本月七日限り左記電信局ヲ廢止セリ但シ同局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十二年八月二十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 土佐丸無線電信局

位 置 日本郵船株式會社所屬汽船土佐丸

承繼局名 横濱郵便局

明治四十二年八月 告示 逓信省第七百四十六號 第七百四十七號 第七百四十八號 第七百四十九號

一五七五

○逓信省告示第七百五十號

本月二十六日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十二年八月二十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱

位 置

名 稱

位 置

中野郵便局

長野縣下高井郡中野町

屋代郵便局

長野縣埴科郡屋代町

湯田中郵便局

長野縣下高井郡平穩村

湖南郵便局

長野縣諏訪郡湖南村

○逓信省告示第七百五十一號

明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通過加ス

明治四十二年八月二十一日

逓信大臣 男爵後藤新平

監督局

開設局

入

區

或

長野

中野

下高井郡

中野町

大字

野(字栗和田、同伍個ヲ除ク)

同

湯田中

同

平穩村

大字

湯田中(同齊野上林ヲ除ク)同上條ノ内下川原

同

屋代

同

埴科郡

屋代町

大字

小島

同

湖南

同

湖南村

同

杭瀬下

同

諏訪郡

同

湖南村

同

杭瀬下

同

豐田村

同

豐田村

同

字北真志野同南真志野同大熊同田邊字有賀同小川同文

○逓信省告示第七百五十二號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電信及電話通話事務ヲ開始シ其取扱時間ハ午前四時ヨリ午後八時

迄トス但シ電報配達事務ヲ取扱ハス

明治四十二年八月二十三日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱

富士山郵便局

位 置

富士山御殿場口頂上

○逓信省告示第七百五十三號

本月二十一日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始シ其取扱時間ハ午前四時ヨリ午後八時迄トス

明治四十二年八月二十三日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱

御殿場郵便局

位 置

静岡県駿東郡御殿町

○逓信省告示第七百五十四號

明治三十三年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通過加シ毎年御殿場郵便局ニ電話通話事務開始期間ニ限り之ヲ施行ス

明治四十二年八月二十三日

逓信大臣 男爵後藤新平

駿河國駿東郡清水村ノ項ノ次ニ

駿河國駿東郡御殿町大字御殿場同新橋字東町同六角堂同下ノ田同若宮同中田同軒田同子キジ同耕垣同外田同樋口大字東田中宇上田中同湯澤大字西田中宇道上大字萩原字花ノ木同廣町同湯澤同カイト同結澤作り大字二枚橋字三枚畑同出口同四月免同東同横道同カミ同大道同京塚原同湯河畑同湯澤

○逓信省告示第七百五十五號

明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通過加ス

明治四十二年八月二十三日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外

通話區域

御殿場富士山間

電話料

一回ノ電

話呼出料

金 十五 錢

金 十 錢

明治四十二年八月 告示 逓信省第七百五十三號 第七百五十四號 第七百五十五號

○逓信省告示第七百五十六號
神奈川県武藏國横濱港外鶴見沖假設掛燈浮標ハ(明治四十一年十月)逓信省告示第千三百二十八號
参照)撤去セリ

明治四十二年八月二十三日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百五十七號
愛媛縣伊豫國來島海峽潮流觀測掛燈浮標ハ燈器破損ノ爲メ當分ノ内浮標頭部ニ不動白色ノ假燈ヲ
點ス
但復舊ノ上ハ更ニ告示スヘシ

明治四十二年八月二十三日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百五十八號

來九月一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十
三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス
明治四十二年八月二十四日

名稱 松任郵便局

位置 石川縣石川郡松任町

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百五十九號

明治四十二年八月二十四日
明治四十二年八月二十四日
逓信大臣 男爵後藤新平

監督局 開設局

加 入 區 域

石川縣 石川郡 松任町(大字新田同北町ヲ除ク)
旭城村 大字 成村 宇 上 成
旭城村 同 相木

○逓信省告示第七百六十號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合左ノ如シ

逓信大臣 男爵後藤新平

香港洋銀	一ダラー	八五三三五	一圓ニ付一「ダラー」十七「セン
	一セント	八五四	
圓 銀	一ダラー	八四七五〇	一圓ニ付一「ダラー」十七「セン
	一セント	八四八	

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ通

○逓信省告示第七百六十一號
本日ヨリ左記郵便局ヲ移轉改稱ス

明治四十二年八月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

現 在 位 置
東京市日本橋區大傳馬町
三丁目

移 轉 位 置
東京市日本橋區通旅館町
郵便局

○逓信省告示第七百六十二號

來九月一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十
三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス
明治四十二年八月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位置
和歌山縣海草郡和歌浦町
奈真郡吉野郡上市町

名 稱 位置
下市郵便局 奈真郡吉野郡下市町

○逓信省告示第七百六十三號

明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通過加ス

明治四十二年八月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

開設局	和歌山縣	海草郡	和歌浦町	紀三井寺村	雜賀村	雜賀村(大字字須ヲ除ク)	大字	上市	吉野郡	立	野市	貝	字田中町、同中平町、同茶屋町
開設局	和歌山縣	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦
開設局	和歌山縣	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦
開設局	和歌山縣	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦
開設局	和歌山縣	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦
開設局	和歌山縣	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦
開設局	和歌山縣	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦	和歌浦

○逓信省告示第七百六十四號

明治三十年十二月逓信省告示第三百五十七號電話加入區域中左記ノ箇所ヲ删除シ來九月一日ヨリ施行ス

明治四十二年八月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

同	奈其縣	吉野郡	吉野町	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村
同	奈其縣	吉野郡	吉野町	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村
同	奈其縣	吉野郡	吉野町	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村
同	奈其縣	吉野郡	吉野町	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村
同	奈其縣	吉野郡	吉野町	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村
同	奈其縣	吉野郡	吉野町	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村
同	奈其縣	吉野郡	吉野町	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村
同	奈其縣	吉野郡	吉野町	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村	吉野村

○逓信省告示第七百六十六號

明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通過加シ來九月一日ヨリ施行ス

明治四十二年八月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	電話料	一回ノ電 話呼出料	加入區域外 通話區域	電話料	一回ノ電 話呼出料
長和歌浦名古屋間	金七十五錢	金二十錢	和歌浦日方間	金十錢	金十錢
和歌浦京都間	金三十五錢	金二十錢	和歌浦高田間	金二十五錢	金十五錢
和歌浦大阪間	金四十錢	金二十錢	和歌浦御所間	金二十五錢	金十五錢
和歌浦堺間	金二十五錢	金十五錢	和歌浦五條間	金二十五錢	金十五錢
和歌浦和歌山間	金二十五錢	金十五錢	和歌浦上市間	金二十五錢	金十五錢
和歌浦岸和田間	金二十錢	金十五錢	和歌浦神戶間	金三十錢	金二十錢

○逓信省告示第七百六十七號

本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十二年八月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	電話料	一回ノ電 話呼出料	加入區域外 通話區域	電話料	一回ノ電 話呼出料
砂川旭川間	金二十五錢	金十五錢	宮城縣牡鹿郡渡ノ波町	金二十五錢	金十五錢

○逓信省告示第七百六十八號

明治三十二年八月逓信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通過加シ本月二十六日ヨリ施行ス

明治四十二年八月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	電話料	一回ノ電 話呼出料	加入區域外 通話區域	電話料	一回ノ電 話呼出料
砂川旭川間	金二十五錢	金十五錢	宮城縣牡鹿郡渡ノ波町	金二十五錢	金十五錢

○逓信省告示第七百六十九號

明治四十二年八月 告示 逓信省第七百六十六號 第七百六十七號 第七百六十八號

逓信大臣 男爵後藤新平

陸前國社鹿郡石巻町ノ項ノ次ニ

陸前國社鹿郡波町大字根岸字波ノ波驛同大字祝田濱(字波田)ノ項ノ次ニ

○逓信省告示第七百六十九號

明治三十九年六月逓信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十二年八月二十五日

逓信大臣 男爵後藤新平

加入區域外 通話區域	一、通話料 電話料	一回ノ電 話呼出料
波ノ波仙臺間	金二十五錢	金十五錢
波ノ波石巻間	金十錢	金十錢
加入區域外 通話區域	一、通話料 電話料	一回ノ電 話呼出料
波ノ波鹽釜間	金二十錢	金十五錢
波ノ波福島間	金三十五錢	金二十錢

○逓信省告示第七百七十號

本年七月條約第二號日本帝國逓信省及海峽殖民地郵政廳間ニ締結セル小包郵便物交換ニ關スル約定ハ來九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年八月二十六日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百七十一號

明治四十二年七月逓信省告示第六百三十號外國小包郵便料金表中左ノ通改正シ來九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年八月二十六日

逓信大臣 男爵後藤新平

第一 郵便料金ノ部

一英國殖民地及屬地(一)亞細亞ノ部英領北「ボルネオ」等ノ項名宛國ノ欄中「ラファン」ヲ削除ス
一海峽殖民地及馬來聯邦ノ項ヲ左ノ通改ス

名 宛 國	逓送線路 差立郵便	郵 便 料		價 格 表 記		附 註
		聯合條約ニ依ルモノ 特別條約ニ依ルモノ	金 額	代 金	小 包	
海峽殖民地 (Straits Settlements & F.M.S.)	直接交 日船其ノ 換 他郵船	聯合條約ニ依ルモノ 特別條約ニ依ルモノ	金 額	代 金	小 包	「ラファン」宛小包ノ料金ハ 香港經由ノ場合ハ英領北 ボルネオノ宛モノニ同シ 又「ラファン」ハ香港ヲ經 由シテ價格表記小包ヲ送付 スルヲ得ス 香港以遠ノ逓送ニ對シテハ 責任ヲ負擔セス
(ラファン) 聯合	由香港經 日船其ノ 他郵船	聯合條約ニ依ルモノ 特別條約ニ依ルモノ	金 額	代 金	小 包	
馬來聯邦 (Malay States)	香港經由 日船其ノ 他郵船	聯合條約ニ依ルモノ 特別條約ニ依ルモノ	金 額	代 金	小 包	

第二 備考ノ部

一第三號中「差出ス小包郵便物」ノ下ニ「及海峽殖民地宛小包郵便物」ヲ加フ

一第四號中種別ノ欄「日本香港間約定ニ依ルモノ」ノ次ニ「日本海峽殖民地間約定ニ依ルモノ」ヲ加フ

○逓信省告示第七百七十二號

帆船新築丸外四十七艘ニ左ノ信號符字ヲ附ス

明治四十二年八月二十八日

逓信大臣 男爵後藤新平

○逓信省告示第七百七十四號

明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通追加ス

明治四十二年八月二十八日

逓信大臣 男爵後藤新平

監督局	開設局	加	入	區
高松	安藝	高知縣	安藝郡	安藝町
				大字
				同 西
				同 黒島

○逓信省告示第七百七十五號

來九月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十二年八月二十八日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 宮倉郵便局 位置 山形縣東田川郡築村

○逓信省告示第七百七十六號

來九月一日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

明治四十二年八月二十八日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 茅ヶ崎郵便局 位置 神奈川縣高座郡茅ヶ崎町

○逓信省告示第七百七十七號

本月三十一日限り左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス

明治四十二年八月二十八日

逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 茅ヶ崎電信取扱所 位置 神奈川縣高座郡茅ヶ崎町

○逓信省告示第七百七十八號 來九月一日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治四十一年九月逓信省令第四十

三號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但シ電話交換業務開始ノ日ハ道テ之ヲ告示ス
明治四十二年八月二十八日
逓信大臣 男爵後藤新平

名 稱 位置

登井郵便局 靜岡縣濱名郡登井町

新居郵便局 靜岡縣濱名郡新居町

金谷郵便局 靜岡縣榛原郡金谷町

靜波郵便局 靜岡縣榛原郡川崎町

名 稱 位置

相良郵便局 靜岡縣榛原郡相良町

下田郵便局 靜岡縣賀茂郡下田町

湯ヶ原郵便局 靜岡縣榛原郡下田町

神奈川縣足柄下郡土肥村

○逓信省告示第七百七十九號 明治四十一年九月逓信省告示第九百十號特設電話加入區域中左ノ通追加ス

明治四十二年八月二十八日

逓信大臣 男爵後藤新平

監督局	開設局	加	入	區
横濱	笠井	靜岡縣	濱名郡	登井町
				大字
				同 石原
				同 恒武

同	新居	靜岡縣	濱名郡	新居町
				大字
				同 内山
				同 濱名
				同 中ノ郷
				同 鷺津
				字 橋須賀
				字 橋木同松山

同	金谷	靜岡縣	榛原郡	金谷町
				大字
				同 仁田
				同 細江
				同 波(字道廻ヲ除ク)
				字 下庄内同
				鹿島同砂間

同	靜波	靜岡縣	榛原郡	川崎町
				大字
				同 細江
				同 波(字道廻ヲ除ク)
				字 下庄内同
				鹿島同砂間

明治四十二年八月 告示 逓信省第七百八十號 第七百八十一號 第七百八十二號

一五八八

同 相 頁

静岡縣 榛原郡 相 頁 町 大字 相 頁
同 福 岡 同 波 津
同 須 々 木 字 須 々 木
同 大 澤 字 大 澤
同 大 江 (字 小 牧 同 東 中 ヲ 除 ク)
同 片 嶺 字 坂 井

同 下 田 靜岡縣 賀茂郡 下 田 町 (神子元島ヲ除ク) 大字 柿 崎 (字 外 浦 ヲ 除 ク)
同 下 田 靜岡縣 賀茂郡 下 田 町 (神子元島ヲ除ク) 大字 柿 崎 (字 外 浦 ヲ 除 ク)
同 湯ヶ原 神奈川縣 足柄下郡 土 肥 村 大字 宮 上 (字 崎 ヶ 原 ヲ 除 ク)

○逓信省告示第七百八十號

明治四十二年十月十二日大阪海軍局ニ於テ内海水先區水先人試験ヲ執行ス

明治四十二年八月三十日

○逓信省告示第七百八十一號

長崎縣對馬國下縣郡豆酸崎沖大瀬上へ挂燈立標建設中ノ處不日點火ス

但點火ノ上ハ更ニ告示スヘシ

明治四十二年八月三十日

○逓信省告示第七百八十二號

明治四十二年八月 逓信省告示第六百七號外國電報料金表第一表 America (亞米利加地方) United States (合衆國)ノ部中左ノ通改正ス

明治四十二年八月三十日

逓信大臣 男爵後藤新平

New York (郵船)
Bay Bridge (イースタム)
Brooklyn (ブロークリン)
Flatbush (フラットブッシュ)
Fort Hamilton (フォートハミルトン)
Governor's Island (ゴブナーズアイランド)
Green Ridge (グリーンリッジ)
Long Island City (ロングアイランドシティ)
New Brighton (ニューブライントン)
New Dorp (ニュードープ)
New York City (ニューヨーク市)
Port Richmond (ポートリッチモンド)
Quarantine (クオアランティン)
St. George (セントジョージ)
Stapleton (スタプルトン)
Tompkinsville (トンプキンズビル)
West New Brighton (ウェストニューブライントン)
Yonkers (ヨンカーズ)
Other places (其ノ他各地)

一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇
一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇
一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇 一六六〇

○逓信省告示第七百八十三號

郵便局所ニ於テ外國爲替金ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合ノ如シ

明治四十二年八月三十一日

逓信大臣

男爵後藤新平

香港洋銀	一ダラー	八五・六五	一圓二付「一ダラー」十六「セント」
	一セント	八五・六	一圓二付「一ダラー」十七「セント」
銀	一ダラー	八五・〇〇	一圓二付「一ダラー」十七「セント」
	一セント	八五・〇	一圓二付「一ダラー」十七「セント」

其ノ他ノ貨幣換算割合ハ従前ノ通

明治四十二年八月 告示 逓信省第七百八十三號

一五八九

○遞信省告示第七百八十四號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加シ來九月一日ヨリ施行ス

明治四十二年八月三十一日

加入區域外 通話區域	電話料	一回ノ電 話呼出料
甲府長野間	金四十五錢	金二十錢
長崎渡邊代間	金六十五錢	金二十錢
福井七尾間	金四十錢	金二十錢
福井水見間	金三十五錢	金二十錢
敦賀三國間	金二十五錢	金二十錢
敦賀武生間	金二十錢	金二十錢
敦賀小松間	金二十五錢	金二十錢
三國高岡間	金二十五錢	金二十錢
三國大聖寺間	金二十五錢	金二十錢
小松伏木間	金二十五錢	金二十錢
石劔七尾間	金二十五錢	金二十錢
石劔新湊間	金二十五錢	金二十錢
伏木七尾間	金二十五錢	金二十錢
七尾魚津間	金二十五錢	金二十錢

加入區域外 通話區域	電話料	一回ノ電 話呼出料
七尾滑川間	金二十五錢	金十五錢
嵯峨宇治間	金十五錢	金十五錢
大津宇治間	金十五錢	金十五錢
宇治奈其間	金十五錢	金十五錢
園部伏見間	金十五錢	金十五錢
園部篠山間	金十五錢	金十五錢
上田豐野間	金二十錢	金十五錢
別所稻荷山間	金二十錢	金十五錢
青木稻荷山間	金二十錢	金十五錢
松本柏崎間	金四十五錢	金十五錢
松代高田間	金二十五錢	金十五錢
中野高田間	金二十五錢	金十五錢
鹽尻直江津間	金四十五錢	金十五錢
大屋直江津間	金二十五錢	金十五錢

○遞信省告示第七百八十五號
本日限リ左記郵便局ニ於ケル電話通話事務ヲ廢止ス

明治四十二年八月三十一日

吉田郵便局

山梨縣南都留郡御代村

御代郵便局

靜岡縣駿東郡御時町

遞信大臣 男爵後藤新平

○統監府告示第六十七號(官報八月九日)
明治四十年五月統監府告示第七十六號中第二號ヲ削除ス

明治四十二年七月三十一日

統監 子爵曾禰荒助

〔參照〕

統監府告示第七十六號(明治四十年五月二十五日官報抄録
第二號)

仁川郵便局 本浦郵便局 群山郵便局 元山郵便局

以上ノ通信官署ニ對シテハ當該郵便局集配區域内ニ於ケル郵便物ノ集配事務ヲ擔任スル主事ノ職務執行ニ要スル經費ヲ交付ス

○統監府告示第六十八號(官報八月九日)

明治四十二年八月一日ヨリ左記郵便取扱所及郵便所ニ電信事務ヲ開始シ郵便取扱所ハ下記ノ通改稱ス但シ長興居昌淵川各郵便電信取扱所及三千浦郵便所ニ於テハ當分ノ内諺文電報ヲ取扱ハス

明治四十二年七月三十一日

統監 子爵曾禰荒助

所 名	位 置	改正所 名
楊州郵便取扱所	京畿道楊州郡楊州邑	楊州郵便電信取扱所
驪州郵便取扱所	京畿道驪州郡驪州邑	驪州郵便電信取扱所
長興郵便取扱所	全羅南道長興郡長興邑	長興郵便電信取扱所
泰仁郵便取扱所	全羅北道泰仁郡泰仁邑	泰仁郵便電信取扱所
居昌郵便取扱所	慶尙南道居昌郡居昌邑	居昌郵便電信取扱所
青松郵便取扱所	慶尙北道青松郡青松邑	青松郵便電信取扱所
長節郵便取扱所	江原道通川郡通川面長節洞	長節郵便電信取扱所

淮陽郵便取扱所	江原道淮陽郡淮陽邑	淮陽郵便電信取扱所
德川郵便取扱所	平安南道德川郡德川邑	德川郵便電信取扱所
价川郵便取扱所	平安南道价川郡价川邑	价川郵便電信取扱所
熙川郵便取扱所	平安北道熙川郡熙川邑	熙川郵便電信取扱所
草梁郵便所	慶尙南道東萊府沙中面草梁	
三千浦郵便所	慶尙南道泗川郡交善面三千浦	

○統監府告示第六十九號 (官報 八月九日)
 明治四十二年八月一日ヨリ左記電信取扱所ニ對スル電報取扱ニ關スル制限下記ノ通告正ス

明治四十二年七月三十一日

統監 子爵曾禰荒助

所 名	位 置	直配邊區域	其ノ他ノ事項
草梁電信取扱所	慶尙南道		
草梁鐵道停車場	草梁鐵道停車場		鐵道停車場ヲ附屬シ若ハ取扱所留 留ノ指定アル電報ノ外配達セズ

○統監府告示第七十號 (官報 八月十六日)

韓國政府ハ隆熙三年七月二十七日法律第二十二號ヲ以テ韓國銀行條例ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如

明治四十二年七月三十一日

統監 子爵曾禰荒助

韓國銀行條例

第一章 總則

第一條 韓國銀行ハ株式會社トシ其ノ本店ヲ京城ニ置ク
 第二條 韓國銀行ハ政府ノ認可ヲ受ケ要地ニ支店代理店ヲ設立シ又ハ他ノ銀行トコルレヌボ
 ンデンスヲ締約スルコトヲ得
 政府ニ於テ支店代理店ヲ必要ナリトスルトキハ銀行ニ命ジテ之ヲ設置セシムルコトアルヘシ

第三條 韓國銀行ノ存立時期ハ設立登記ノ日ヨリ五十年トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ延長ス
 ルコトヲ得

第四條 韓國銀行ノ資本金ハ一千萬圓トシ之ヲ十萬株ニ分チ一株ノ金額ヲ百圓トス但シ政府ノ
 認可ヲ受ケ資本金ヲ増加スルコトヲ得

第五條 韓國銀行ノ株式ハ總テ記名ト爲シ韓日兩國人ニ限り所有スルコトヲ得

第六條 政府ハ韓國銀行ノ株式ノ内三萬株ヲ引受クヘシ
 政府ハ前項ニ依リ引受ケタル韓國銀行ノ株式ヲ離權スルコトヲ得ス

第二章 重役

第八條 韓國銀行ニ總裁一人理事三人以上監事一人以上ヲ置ク

第九條 總裁ハ韓國銀行ヲ代表シ其ノ事務ヲ總理ス

總裁事故アルトキハ理事ノ一人其ノ職務ヲ代理シ總裁職員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ總裁ヲ補佐シ定款ノ定ムル所ニ從ヒ韓國銀行ノ業務ヲ分掌ス

監事ハ韓國銀行ノ業務ヲ監査ス

第十條 總裁ハ政府之ヲ命シ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ百株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ選舉シタルニ倍ノ候補者中ヨリ政府之
 ヲ命シ其ノ任期ヲ三年トス

監事ハ五十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二年トス

第十一條 總裁及理事ハ何等ノ名稱ニ拘ラス他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ス但シ政府
 ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三章 株主總會

- 第十二條 通常株主總會ハ毎年二回定款ニ定メタル時期ニ於テ總裁之ヲ招集ス
- 第十三條 臨時株主總會ハ臨時ノ事項ヲ議スル爲何時ニテモ總裁之ヲ招集スルコトヲ得
- 第十四條 監事ノ全員又ハ總株金ノ五分ノ一以上ニ當ル株主ハ會議ノ目的ヲ示シテ臨時株主總會ノ招集ヲ總裁ニ請求スルコトヲ得
- 總裁前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ臨時株主總會ヲ招集スヘシ
- 第十五條 株主總會ニ於ケル株主ノ議決權ハ其ノ所有株數一株ニ付一箇トス但シ十一株以上ハ十株ヲ増ス毎ニ一箇ヲ加フ
- 第十六條 株主總會ニ於テハ株主ハ議決權ヲ有スル株主ノ外代理ヲ委託スルコトヲ得ス但シ法定代理人ハ此ノ限ニ在ラス
- 第十七條 定款ノ變更ハ總資本ノ半額以上ニ當ル株主出席シ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第四章 營業

- 第十八條 韓國銀行ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス
- 第一 爲替手形其ノ他商業手形ノ割引
- 第二 平常取引スル諸會社銀行又ハ商人ノ爲手形金ノ取立
- 第三 爲替及荷爲替
- 第四 確實ナル擔保アル貸付
- 第五 諸預リ金及當座貸越勘定
- 第六 金銀貨貴金屬及諸證券ノ保護預リ
- 第七 地金銀ノ買買及貨幣ノ交換

公共團體ニ對シ政府ノ認可ヲ受ケ無擔保貸付ヲ爲スコトヲ得
前二項ノ外營業ノ都合ニ依リ國債證券 地方債券其ノ他政府ノ指定スル確實ナル有價證券ヲ買入ルルコトヲ得

韓國銀行ハ政府ノ認可ヲ受ケ他銀行ノ業務代理ヲ爲スコトヲ得

第十九條 韓國銀行ハ營業ノ爲必要ナル物件ヲ買入レ又ハ債務辨濟ノ爲引受ケタル物件ヲ所有スルノ外動産及不動産ヲ買取ルコトヲ得ス

第二十條 韓國銀行ハ國庫金ヲ預リ其ノ出納ニ關スル事務ヲ無償ニテ取扱フ義務アルモノトス

政府ハ韓國銀行ヲシテ貨幣整理事務及國債元利金ノ出納ニ關スル事務ヲ取扱ハシムヘシ

第二十一條 韓國銀行ハ本法ニ記載セサル業務ヲ營ムコトヲ得ス但シ政府ノ命令ニ基ク場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五章 銀行券

第二十二條 韓國銀行ハ銀行券ヲ發行スルコトヲ得但シ銀行券ノ樣式及種類ニ關シテハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ銀行券ハ韓國銀行本店及支店ニ於テ營業時間中何時ニテモ金貨若ハ日本銀行兌換券ト引換フルモノトス但シ支店ニ於テハ本店ヨリ準備金ノ到達スヘキ時間其ノ引換ヲ延期スルコトヲ得

第二十三條 韓國銀行ハ銀行券發行高ニ對シ同額ノ金貨地金銀及日本銀行兌換券ヲ置キ其ノ仕拂準備ニ充ツヘシ但シ銀地金ハ仕拂準備總額ノ四分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス

前項準備ニ依ルノ外韓國銀行ハ特ニ二千萬圓ヲ限リ國債證券其ノ他確實ナル證券若ハ商業手形ヲ保證トシテ銀行券ヲ發行スルコトヲ得

市場ノ狀況ニ由リ前二項ノ外更ニ銀行券ヲ發行ヲ必要トスルトキハ政府ノ認可ヲ受ケ國債證

券其ノ他確實ナル證券若ハ商業手形ヲ保證トシテ之ヲ發行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ノ命スル所ニ依リ一箇年百分ノ五ヲ下ラサル割合ヲ以テ發行稅ヲ納ムヘシ

第二十四條 韓國銀行ヨリ發行スル銀行券ハ公私ノ取引ニ無制限ニ通用スルモノトス

第二十五條 韓國銀行ハ銀行券ノ發行額及仕拂準備ニ關スル每週平均高表ヲ官報ニ公告スヘシ

第二十六條 銀行券ノ製造發行損券引換及銷却等ノ手續ハ別ニ之ヲ定ム

第二十七條 銀行券ノ偽造變造ニ係ル罪ハ刑法偽造紙幣ノ各本條ニ照シテ處斷ス

第六章 準備金及納付金

第二十八條 韓國銀行ハ每營業年度準備金トシテ資本ノ闕損ヲ補フ爲利益ノ百分ノ八以上ヲ積立テ且利益配當ノ平均ヲ得セシムル爲利益ノ百分ノ二以上ヲ積立ツヘシ

第二十九條 株主ヘノ利益配當額拂込資本ニ對シ年百分ノ十二ヲ超過スルトキハ韓國銀行ハ該超過額ノ二分ノ一ヲ政府ニ納付スヘシ

第七章 政府ノ監督及補助

第三十條 政府ハ韓國銀行ノ業務ヲ監督ス

第三十一條 韓國銀行ハ其ノ定款ヲ變更セムトスルトキハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第三十二條 韓國銀行ハ株主ニ配當金ヲ分配セムトスルトキハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第三十三條 政府ハ必要ナリト認ムルトキハ銀行券ノ種類發行高貸付割引ノ金額及方法又ハ其ノ利子歩合爲替料及正貨準備若ハ保證準備ニ關シ制限ヲ付スルコトヲ得

第三十四條 政府ハ韓國銀行ノ營業上本條例定款又ハ監督上政府ノ發シタル命令ニ背戾シ若ハ公益ヲ害スル事項アリト認ムルトキハ之ヲ制止シ尙情狀ニ依リ役員ヲ解職スルコトヲ得

第三十五條 韓國銀行ハ政府ノ命令ニ從ヒ其ノ營業ニ關スル諸般ノ景況及計算報告書ヲ差出スヘシ

第三十六條 政府ハ特ニ韓國銀行監理官ヲ置キ韓國銀行ノ業務ヲ監視セシム

第三十七條 韓國銀行監理官ハ何時ニテモ韓國銀行ノ金庫帳簿及諸般ノ文書ヲ検査スルコトヲ得

韓國銀行監理官ハ監視上必要ナリト認ムルトキハ何時ニテモ韓國銀行ニ命シ營業上諸般ノ計算及景況ヲ報告セシムルコトヲ得

韓國銀行監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得但シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第三十八條 韓國銀行ノ利益配當金ニシテ政府持株以外ノ株式ニ對シ每營業年度ニ於テ年百分ノ六ノ割合ニ達スル迄ハ政府持株ニ配當ヲ爲スコトヲ要セズ

第三十九條 韓國銀行ノ利益配當金ニシテ政府持株以外ノ株式ニ對シ每營業年度ニ於テ年百分ノ六ノ割合ニ達セサルトキハ政府ハ創立初期ノ末ヨリ五年間ヲ限り之ニ達セシムヘキ金額ヲ補給スヘシ

第四十條 政府ハ韓國銀行創立ノ際其ノ營業費ヲ補助スル爲百二十萬圓ヲ限り無利子ニテ貸下クヘシ

前項貸下金ハ貸下ノ日ヨリ五年間據置キ以後十年賦ニテ償還セシムルモノトス

第八章 罰則

第四十一條 韓國銀行ニ於テ左ノ事犯アルトキハ總裁若ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ又ハ代理スル理事ヲ千圓以下ノ過料ニ處ス其ノ事犯ニシテ理事ノ分擔業務ニ係ルトキハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同シ

一 第二十一條ノ規定ニ反シ本條例ニ記載ナキ又ハ政府ノ命令ニ基カサル業務ヲ營ミタルトキ

二 第二十三條ノ規定ニ反シ銀行券ヲ發行シタルトキ
 三 第二十八條ノ規定ニ反シ準備金ヲ積立テサルトキ
 四 本條例ニ依リ認可ヲ受ケヘキ事項ニシテ其ノ認可ヲ受ケサルトキ
 第四十二條 前條ノ過料ハ裁判所ノ命令ヲ以テ之ヲ科ス其ノ命令ニ對シテ八十四日以内ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

附則

第四十三條 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 第四十四條 韓國銀行ノ設立ニ關スル一切ノ事務ハ之ヲ日本政府ニ委託ス
 第四十五條 第十五條第十六條及第十七條ノ規定ハ之ヲ創立總會ニ準用ス
 第四十六條 創立初度ノ理事及監事ハ任期ヲ除ク外第十條ノ條件ニ拘ラス政府之ヲ命ス
 第四十七條 韓國銀行ハ政府ノ定ムル所ニ從ヒ株式會社第一銀行ノ權利義務ヲ承繼スルモノトス
 第四十八條 前條承繼前株式會社第一銀行ノ發行シタル銀行券ハ韓國銀行ニ於テ發行シタルモノト看做ス
 第四十九條 第四十七條ニ依ル承繼ト同時ニ韓國銀行ハ政府ノ定ムル所ニ從ヒ承繼ノ日ニ於ケル保護準備ニ相當スル金額ヲ限リ無利子二十年賦償還ヲ以テ株式會社第一銀行ニ貸付クヘシ
 ○統監府告示第七十一號(官報八月十六日)
 韓國政府ハ隆熙三年七月三十一日勅令第六十八號ヲ以テ軍部廢止、親衛府新設及之ニ附帶スル件ヲ、勅令第六十九號ヲ以テ侍從武官府官制外四件廢止ノ件ヲ、勅令第七十號ヲ以テ内閣官制中改正ノ件ヲ、勅令第七十一號ヲ以テ各部官制通則中改正ノ件ヲ、勅令七十二號ヲ以テ憲兵補助員募集ニ關スル件中改正ノ件ヲ、布達第三號ヲ以テ親衛府官制ヲ、布達第四號ヲ以テ侍從武官府官制ヲ、布

達第五號ヲ以テ東宮武官府官制ヲ、布達第六號ヲ以テ近衛騎兵隊編制ノ件ヲ、布達第七號ヲ以テ近衛步兵隊編制ノ件ヲ、布達第八號ヲ以テ武官並相當官及下士卒ノ官等俸給、給料、乘馬本分、服裝及懲戒ニ關スル件ヲ、布達第九號ヲ以テ武官恩給ニ關スル件ヲ公布セリ其ノ譯文左ノ如シ

明治四十二年七月三十一日

統監 子爵曾禰荒助

軍部廢止、親衛府新設及之ニ附帶スル件

第一條 軍部ヲ廢シ宮中ニ親衛府ヲ置ク
 第二條 在來ノ軍部ニ屬スル歳入歳出豫算金額及財産ハ總テ宮内府ニ移シ現ニ不用ニ屬スル財産ハ度支部所管ニ移スモノトス

第三條 陸軍武官學校ハ之ヲ廢止ス其ノ時期ハ別ニ之ヲ定ム
 武官ノ養成ハ日本國ニ委託スルモノトス

第四條 現在ノ將校並將來日本政府ニ委託養成シタル者ハ日本軍隊ニ派遣シ軍事ノ研究ヲ爲サシム

第五條 將校休職ト爲リタルトキハ其ノ俸給ノ半額ヲ受ケ停職ト爲リタルトキハ其ノ俸給ノ三分ノ一ヲ受ケルモノトス

第六條 將校現役ヲ離レタルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ恩給ヲ受ケルノ權利アルモノトス
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

侍從武官府官制外四件廢止ノ件

隆熙元年勅令第十二號侍從武官府官制、隆熙二年勅令第十六號東宮武官府官制、隆熙元年勅令第

十七號親王附武官官制、隆熙元年勅令第十六號近衛步兵隊編制ノ件及隆熙元年勅令第五十八號近衛騎兵隊編制ノ件ハ之ヲ廢止ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

内閣官制中改正ノ件

光武十一年勅令第三十五號内閣官制中左ノ通改正ス

第八條 削除

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

各部官制通則中改正ノ件

隆熙元年勅令第三十六號各部官制通則中左ノ通改正ス

第一條中「軍部」ヲ削ル

第十一條第二項削除

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

憲兵補助員募集ニ關スル件中改正ノ件

隆熙二年勅令第三十一號憲兵補助員募集ニ關スル件中左ノ通改正ス

第二條第二項削除

第三條中但書削除

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

親衛府官制

第一條 宮中ニ親衛府ヲ置ク

第二條 親衛府ニ左ノ職員ヲ置ク

一 親衛府長官 一人 親任

一 親衛府武官 二人 參將又ハ領官

一 副官 一人 領官又ハ尉官

一 主事 五人 下士又ハ判任官

第三條 親衛府長官ハ軍人軍屬ヲ統督シ所轄諸部ヲ監督ス

親衛府長官ハ將校同相當官及委任軍屬ノ任免、進級、補職ハ閣議ヲ經テ上奏シ下士及判任軍屬

ニ在リテハ之ヲ專行ス

第四條 親衛府武官ハ親衛府長官ノ命ヲ承ケ府務ヲ分掌ス

副官ハ親衛府長官ノ命ヲ承ケ官房ノ事務ヲ掌ル

主事ハ上官ノ指揮ヲ承ケ府務ニ従事ス

第五條 親衛府職員定員ノ外親衛府附トシテ六人以内ヲ置キ領尉官及同相當官ヲ以テ之ヲ補ス

ルコトヲ得

前項ノ職員中一人ハ親王附武官ト爲スコトヲ得

第六條 兵器彈藥ノ管理及處分ハ韓國駐節日本軍司令官ニ委託ス

第七條 軍人軍屬ノ犯罪ニ關スル司法處分ハ韓國駐節日本軍軍法會議ニ委託ス

第八條 將校及同相當官ニ關スル人事、軍隊ノ行動、其ノ他重要ナル規則ノ制定ニ付テハ韓國駐

箱日本軍司令官ノ承認ヲ受クルモノトス

第九條 親衛府ニ顧問若干人ヲ置キ日本將校及同相當官ヲ以テ之ニ充ツ

附則

本布達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

侍從武官府官制

第一條 侍從武官府ヲ置キ其ノ職員ヲ左ノ如ク定ム

侍從武官長 一人 親衛府長官ヲ以テ之ニ充ツ

侍從武官 四人 領官二人 附官二人

主事 五人 下士又ハ判任官

第三條 侍從武官長及侍從武官ハ

大皇帝陛下ニ常時奉衛シ軍事ニ關シ上奏奉答及命令傳達ニ任シ又觀兵、演習、動駕ノトキ其ノ

他祭儀、禮典、御宴、陛見等ノトキ常時扈從ス

第三條 侍從武官長ハ侍從武官以下ノ勤務ヲ規定シ且之ヲ監督ス

第四條 侍從武官ハ演習、其ノ他軍事上視察ノ爲派遣セラルルコトアルヘシ

第五條 侍從武官ハ參謀官トス

第六條 侍從武官ノ任免ハ閣議ヲ經テ親衛府長官之ヲ奏請ス

附則

本布達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

東宮武官府官制

第一條 東宮武官府ヲ置キ其ノ職員ヲ左ノ如ク定ム

東宮武官長 一人 將官

東宮武官 二人 領官一人 附官一人

主事 三人 下士又ハ判任官

第二條 東宮武官長ハ皇太子殿下ノ匡翼輔弼ノ責ニ任ス

第三條 東宮武官長及東宮武官ハ皇太子殿下ノ威儀整飾ヲ奉助シ軍事ニ關シ入啓奉答及命令傳

達ニ任シ勳典、觀兵、演習、其ノ他軍務及祭儀、禮典、宴禮、謁見等ノトキ陪衛扈從ス

第四條 東宮武官長ハ東宮武官以下ヲ監督ス

第五條 東宮武官長ハ東宮武官以下ノ勤務細則ヲ規定ス

第六條 東宮武官長及東宮武官ノ任免ハ閣議ヲ經テ親衛府長官之ヲ奏請ス

附則

本布達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

近衛騎兵隊編制ノ件

第一條 近衛騎兵隊ヲ置キ皇室儀仗ノ任ヲ掌ル

第二條 近衛騎兵隊ノ職員ハ別表ニ依ル

第三條 近衛騎兵隊ニ顧問若干人ヲ置キ日本將校及同相當官ヲ以テ之ニ充ツ

附則

本布達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別表省略)

- 近衛歩兵隊編制ノ件
- 第一條 近衛歩兵一大隊ヲ置キ皇宮ノ儀仗及守衛ヲ擔任ス
 - 第二條 近衛歩兵隊ハ大隊本部及四箇中隊ヲ以テ編制ス
 - 第三條 近衛歩兵隊ノ職員ハ別表ニ依ル
 - 第四條 近衛歩兵隊ニ顧問若干人ヲ置キ日本將校及同相當官ヲ以テ之ニ充ツ
- 附則
- 本布達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別表省略)

- 武官並相當官及下士卒ノ官等俸給給料、乘馬本分、服裝及懲戒ニ關スル件
- 武官並相當官及下士卒ノ官等俸給給料、乘馬本分、服裝及懲戒ニ關シテハ總テ從前ノ規定ヲ準用ス
- 附則
- 本布達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

武官恩給ニ關スル件

- 第一條 隆熙三年勅令第六十八號施行ノ際現役ヲ離レタル將校及同相當官ハ本則ノ定ムル所ニ依リ恩給ヲ受ケルモノトス
- 第二條 恩給ハ別表ニ依リ終身之ヲ給ス
- 第三條 恩給ノ支給ハ現役ヲ離レタル翌月ニ始マリ死亡ノ月ヲ以テ終ルモノトス

第四條 恩給ヲ受ケル者重罪ノ刑ニ處セラレ若ハ帝國臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキハ恩給ヲ剝奪ス

第五條 恩給ヲ受ケル者再現役ニ就キ若ハ判任官以上ノ職ニ任セラレタルトキハ其ノ間恩給ノ支給ヲ停止ス

第六條 恩給ハ之ヲ受ケヘキ事由ノ生シタル後一箇年內ニ請求セサレハ其ノ權利ヲ拋棄シタルモノト看做ス

第七條 恩給ハ讓渡シ若ハ擔保ノ目的ト爲シ又ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

第八條 恩給ノ支給ハ親衛府長官之ヲ裁定ス

第九條 本則ノ施行細則ハ親衛府長官之ヲ定ム

附則

本布達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別表

恩給年額	
副將	1800
參將	2100
正領	2400
副領	2700
參領	3000
正領	3300
副	3600
副	3900
參	4200
副	4500
參	4800
副	5100

○統監府告示第七十二號(官報八月十九日)

明治四十二年八月十六日ヨリ左記郵便電信取扱所ニ於テ謄文電報ヲモ取扱ハシム

明治四十二年八月七日

統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第七十三號 (官報 八月十九日)
料金受信人拂外國新聞電報ヲ取扱フ郵便局所名左ノ如シ
明治四十二年八月七日
統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第七十四號 (官報 八月二十一日)
明治四十二年九月一日ヨリ左記各局所ニ電話通話事務ヲ開始ス
明治四十二年八月十四日
統監 子爵曾禰荒助

○統監府告示第七十五號 (官報 八月二十一日)
明治四十一年九月統監府告示第五百二十一號中左ノ通改正ニ來九月二日ヨリ之ヲ施行ス
明治四十二年八月十四日
統監 子爵曾禰荒助

局所名	位置	局所名	位置
京城郵便局	京城	河東郵便電信取扱所	河東
公州郵便局	公州	永興郵便電信取扱所	永興
晉州郵便局	晉州	咸鏡南道永興郡永興邑	咸鏡南道永興郡永興邑
忠清南道公州郡公州邑	忠清南道公州郡公州邑	慶尚南道河東郡河東邑	慶尚南道河東郡河東邑
慶尚南道晉州郡晉州邑	慶尚南道晉州郡晉州邑	咸鏡南道永興郡永興邑	咸鏡南道永興郡永興邑

區	城	一 通 話 料	一 回 ノ 電 話 出 料
京城	開城間	金三十錢	金二十五錢
京城	延安間	金四十錢	金二十五錢
京城	海州間	金五十錢	金二十五錢
仁川	開城間	金四十錢	金二十五錢
仁川	延安間	金五十錢	金二十五錢
仁川	海州間	金五十錢	金二十五錢
仁川	春川間	金四十錢	金二十五錢
龍山	開城間	金三十錢	金二十五錢
龍山	延安間	金四十錢	金二十五錢
龍山	海州間	金五十錢	金二十五錢
永登浦	開城間	金三十錢	金二十五錢
永登浦	延安間	金四十錢	金二十五錢
永登浦	海州間	金五十錢	金二十五錢
永登浦	春川間	金四十錢	金二十五錢
水原(梅山里)	開城間	金三十錢	金二十五錢
水原(梅山里)	延安間	金四十錢	金二十五錢
水原(梅山里)	海州間	金五十錢	金二十五錢
水原(梅山里)	春川間	金四十錢	金二十五錢
開城	海州間	金三十錢	金二十五錢
開城	浦間	金三十錢	金二十五錢

明治四十二年八月 告示 統監府第七十五號 一六〇七

第一條 韓國政府ハ韓國銀行ヲ設立シ之ニ兌換銀行券ヲ發行スルノ權ヲ與ヘ韓國中央金融機關タルノ業務ニ從事セシムルノ外日本銀行ノ委託アルトキハ日本國庫金ノ取扱ヲ爲サシムヘシ

第二條 株式會社第一銀行ノ發行シタル銀行券ハ韓國銀行ノ發行シタルモノト看做シ韓國銀行ハ其ノ銷却ノ義務ヲ承繼スルモノトス

第三條 韓國銀行ノ株式ハ日韓兩國人ニ限り之ヲ所有スルコトヲ得

第四條 韓國銀行ノ重役ハ當分ノ日本人ヲ以テ之ニ充ツヘシ

第五條 韓國銀行ハ韓國政府持株以外ノ株式ニ對シテ爲スヘキ利益配當カ年百分ノ六ノ割合ニ達スル迄ハ韓國政府持株ニ對シ利益配當ヲ爲スコトヲ要セス

第六條 韓國政府ハ韓國銀行ノ創立後五箇年間ハ同國政府持株以外ノ株式ニ對シ年百分ノ六ノ割合ノ利益配當ヲ保證スルモノトス

右覺書日韓文各二通ヲ作り之ヲ交換シ後日ノ證トスル爲記名調印ス

隆熙三年七月二十六日

統監 子爵 曾禰荒助
內閣總理大臣 李完用

○統監府告示第七十七號(官報八月二十八日)
明治四十二年八月三十一日限り左記郵便局ニ於ケル韓國國庫金出納及保管事務ノ取扱ヲ廢止ス

局名	位	局名	位
濟州郵便局	位	義州郵便局	位
忠清北道清州郡清州邑	位	平安北道義州郡義州邑	位

○統監府告示第七十八號(官報八月二十八日)
明治四十二年九月一日ヨリ左記郵便局ニ韓國國庫金出納及保管事務ノ取扱ヲ開始ス

○統監府告示第七十九號(官報八月二十八日)
明治四十二年九月一日ヨリ左記郵便取扱所及郵便所ニ電信事務ヲ開始シ郵便取扱所ハ下記ノ通改稱ス但シ咸陽郵便電信取扱所ニ於テハ當分ノ內訖文電報ヲ又龍山元町郵便所ニ於テハ電信配達事務ヲ取扱ハス

統監 子爵曾禰荒助

局名	位	局名	位
忠州郵便局	位	寧邊郵便局	位
忠清北道忠州郡忠州邑	位	平安北道寧邊郡寧邊邑	位

所名	位	改正所名
定山郵便取扱所	位	定山郵便電信取扱所
靈巖郵便取扱所	位	靈巖郵便電信取扱所
錦山郵便取扱所	位	錦山郵便電信取扱所
三嘉郵便取扱所	位	三嘉郵便電信取扱所
咸陽郵便取扱所	位	咸陽郵便電信取扱所
襄陽郵便取扱所	位	襄陽郵便電信取扱所
龍山元町郵便所	位	龍山元町郵便所
昌原郵便所	位	昌原郵便所
		江原道襄陽郡襄陽邑
		京畿道龍山元町三丁目
		慶尙南道昌原府內西上洞

○統監府告示第八十號(官報八月二十八日)
明治四十一年九月統監府告示第五百五十九號電話呼出地域中左ノ通改正シ來九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年八月三十一日

統監 子爵曾禰荒助

一 茂山ノ項ノ次ニ左ノ各項ヲ加フ

呼出所	地	備	考
公州	〔臺灣南道公州郡東部内〕内官峴、許門、水源洞、山城、將軍堡、江、 〔豐洞〕立石里、南部内ノ内古上街、上風村、下風村、校村、班竹里、 牛菜崎、金湖洞、晴谷		
晉州	〔慶尙南道晉州郡城内〕内、大安面、中安面ノ内一洞三洞、風谷面ノ 〔内〕上村、下村		
河東	〔慶尙南道河東郡德陽面〕内、廣坪、比巴村、院洞、新場村、豆谷村、 〔古〕東村、花心村、井洞、仙庄村、新村、栗洞、邑村、校村、解良村、 牛峙村		
永興	〔咸鏡南道永興郡洪仁社〕内、永興邑		

○臺灣總督府告示第七號 (官報 八月七日)
臺灣總督府告示第七號 (官報 八月七日)
臺灣總督府告示第七號 (官報 八月七日)

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第八號 (官報 八月七日)
臺灣總督府告示第八號 (官報 八月七日)
臺灣總督府告示第八號 (官報 八月七日)

○臺灣總督府告示第九號 (官報 八月七日)
臺灣總督府告示第九號 (官報 八月七日)
臺灣總督府告示第九號 (官報 八月七日)

○臺灣總督府告示第十號 (官報 八月七日)
臺灣總督府告示第十號 (官報 八月七日)
臺灣總督府告示第十號 (官報 八月七日)

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○臺灣總督府告示第百十號 (官報 八月十七日)
臺灣總督府告示第百十號 (官報 八月十七日)
臺灣總督府告示第百十號 (官報 八月十七日)

○臺灣總督府告示第百十一號 (官報 八月十七日)
臺灣總督府告示第百十一號 (官報 八月十七日)
臺灣總督府告示第百十一號 (官報 八月十七日)

○臺灣總督府告示第百十二號 (官報 八月十七日)
臺灣總督府告示第百十二號 (官報 八月十七日)
臺灣總督府告示第百十二號 (官報 八月十七日)

○臺灣總督府告示第百十三號 (官報 八月二十八日)
臺灣總督府告示第百十三號 (官報 八月二十八日)
臺灣總督府告示第百十三號 (官報 八月二十八日)

○臺灣總督府告示第百十四號 (官報 八月二十八日)
臺灣總督府告示第百十四號 (官報 八月二十八日)
臺灣總督府告示第百十四號 (官報 八月二十八日)

○臺灣總督府告示第百十五號 (官報 八月二十八日)
臺灣總督府告示第百十五號 (官報 八月二十八日)
臺灣總督府告示第百十五號 (官報 八月二十八日)

臺灣總督 伯爵佐久間左馬太

○關東都督府告示第六十一號(官報八月九日)
大連民政署金州支署管内長山寺會馬家溝屯ニ於テ本月七日ヨリ十日迄ニ畜牛五頭牛疫ニ罹リ斃死
又ハ撲殺シタリ

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第六十二號(官報八月九日)
七月三日韓國釜山ニ在留ノ日本人男一名虎列刺ニ罹リタル旨統監府ヨリ通知アリタリ
明治四十二年七月十九日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第六十三號(官報八月九日)
大連民政署金州支署管内長山寺會馬家溝屯ニ於テ本月十四日畜牛二頭牛疫ニ罹リタルヲ發見シ撲
殺シタリ

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第六十四號(官報八月九日)
明治四十二年八月一日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス但シ湯崗子電信取扱所ヲ除クノ外電報配達事
務ヲ取扱ハス

關東都督 子爵大島義昌

名	稱	位	名	稱	位
浦洲本社構内電信取扱所	關東州大連市東公園町		遼陽 電信取扱所	遼陽	浦洲遼陽鐵道停車場
大連電信取扱所	關東州大連市大連鐵道停車場		奉天 電信取扱所	奉天	浦洲奉天鐵道停車場
旅順電信取扱所	關東州旅順鐵道停車場		鐵嶺 電信取扱所	鐵嶺	浦洲鐵嶺鐵道停車場
瓦房店電信取扱所	浦洲瓦房店鐵道停車場		昌圖 電信取扱所	昌圖	浦洲昌圖鐵道停車場
六石橋電信取扱所	浦洲六石橋鐵道停車場		公主嶺 電信取扱所	公主嶺	浦洲公主嶺鐵道停車場
湯崗子電信取扱所	浦洲湯崗子鐵道停車場		長春 電信取扱所	長春	浦洲長春鐵道停車場
			沙河鎮 電信取扱所	沙河鎮	浦洲沙河鎮鐵道停車場

○關東都督府告示第六十五號(官報八月九日)
明治四十年五月府令第三十二號ニ依ル銀ノ價格ヲ明治四十二年七月二十九日以降銀一圓ニ付金八十
二錢ニ改定ス

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第六十六號(官報八月十一日)
明治四十二年八月一日ヨリ滿洲五龍背溫泉場ニ自働電話ヲ設置ス其ノ通話區域及電話通話料左ノ
如シ

關東都督 子爵大島義昌

明治四十二年七月三十日
通話區域 五龍背安東縣間 一通話時ノ通話料 金十五錢

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第六十七號(官報八月十二日)
明治四十二年七月二十七日韓國釜山港及草梁ニ各一名ノ虎列刺患者發生ノ旨統監府ヨリ通知アリ
タリ

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第六十八號(官報八月二十一日)
明治四十二年八月二日外國人虎列刺患者三名發生二名死亡ノ旨在上海帝國總領事ヨリ電報アリタ
リ

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第六十九號(官報八月二十一日)
明治四十二年七月十九日迄ニ福崗縣下ニ虎列刺疑似症患者五名發生ノ旨同縣ヨリ同年七月二十五
日迄ニ山口縣下ニ虎列刺疑似症患者三名發生ノ旨同縣ヨリ孰レモ通知アリタリ

關東都督 子爵大島義昌

明治四十二年八月五日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第七十號(官報八月二十一日)

明治四十二年八月十日上海ヨリ大連ニ入港碇泊中ノ神戸丸火夫(清國人)一名同日虎列刺ニ罹リタル旨關東都督府海務局ヨリ報告アリタリ

明治四十二年八月十二日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第七十一號(官報八月二十四日)

明治四十二年八月十日遼陽ニ於テ日本人一名虎列刺ニ罹リ死亡、同十一日大石橋ニ於テ日本人一名虎列刺疑似症ニ罹リ同十三日死亡、同十四日奉天ニ於テ露國人一名同症ニ罹リ死亡、同日營口新市街ニ於テ日本人一名支那人五名同症ニ罹リ内日本人ハ死亡シタル旨報告アリタリ

明治四十二年八月十七日

關東都督 子爵大島義昌

○關東都督府告示第七十二號(官報八月二十八日)

明治四十二年八月十八日ヨリ左ノ停車場ニ於テ汽車檢疫ヲ開始シタリ

明治四十二年八月十九日

關東都督 子爵大島義昌

一大連、旅順、金州、營口、瓦房店、大石橋、遼陽、奉天、千金、秦、鐵嶺、公主嶺、長春

○日英博覽會事務局告示第十二號

日英博覽會古美術品取扱規則左ノ通相定ム

明治四十二年八月二十一日

日英博覽會總裁 男爵大浦兼武

日英博覽會古美術品取扱規則

第一條 日英博覽會ニ出品スヘキ古美術品ノ荷造、輸送、陳列、説明、保管、積戻等ニ關スル事務局ハ事務局ニ於テ之ヲ取扱フモノトス

第二條 事務局ハ古美術品ノ荷造、輸送、陳列、保管、積戻等ニ付嚴密ナル注意ヲ加ヘ且ツ損害ナキ様

適當ノ施設ヲ爲スヘシ

第三條 古美術品ノ出品ニ要スル費用ハ總テ事務局ニ於テ之ヲ負擔ス

第四條 事務局ニ於テ古美術品ヲ受取リタルトキハ事務局ハ遲滞ナク出品人ヲ被保險者ト爲シ其ノ物品ノ運送、火災及盜難ニ付之ヲ保險ニ附スヘシ

前項保險金額ハ事務局ト出品人ト協議ノ上之ヲ定ム

第五條 前條ニ依リ保險ニ附シタル以外ノ事故ニ依リ生シタル古美術品ノ損害ニ付テハ事務局ハ相當ノ損害ヲ賠償スヘシ

第六條 事務局ニ於テ古美術品ノ出品ノ承諾ヲ得タルトキハ局員ヲ其ノ所在地ニ派遣シ之ヲ受取ラシムヘシ

事務局員古美術品ヲ受取ラムトスルトキハ其ノ現狀ニ付精密ニ検査スヘシ

第七條 事務局員現品ヲ受取リタルトキハ事務局ニ於テ捺印シタル領收證ヲ出品人ニ交付スヘシ

前項ノ領收證ニハ左ノ事項ヲ記載シ尙ホ事務局員之ニ署名捺印スヘシ

一 物品ノ種類、名稱、形狀、品質

二 物品ノ寸法又ハ重量

三 裝飾ノ概要

四 製作者又ハ製作ノ年代ヲ知り得ルモノハ其ノ製作者ノ氏名又ハ年代

五 容器又ハ附屬品アルトキハ容器又ハ附屬品ノ詳細

六 保險金額

七 第六條第二項ニ依リ爲シタル検査ノ要領

八 受領ノ場所及年月日

第八條 古美術品ノ荷造ハ事務局員監督ノ上熟練ナル荷造人ヲシテ鄭重ニ取扱ハシムヘシ

現品受取ノ際特別ノ荷造ヲ要スルモノアルトキハ事務局ハ特ニ熟練ナル荷造人ヲ其ノ所在地ニ派遣シ之ヲ取扱ハシムヘシ

内地ニ於ケル運搬ハ出來得ル限リ陸路ニ依ルモノトス

第九條 古美術品ヲ英國ニ輸送スル場合ニ於テハ事務局員ヲシテ之ニ附添ハシメ充分ノ注意ヲ加フヘシ其ノ積戻ノ場合亦同シ

第十條 事務局ハ特ニ左ノ各號ニ依リ古美術品ノ保管ヲ爲スヘシ

- 一 古美術品ノ取扱ニ堪能ナル者ヲシテ保管セシムルコト
- 二 陳列箱ハ嚴重ナル錠ヲ以テ之ヲ鎖シ其ノ鍵ハ事務局員之ヲ保管スルコト
- 三 陳列箱内ノ掃除ハ事務局員立會ノ上之ヲ爲スコト
- 四 古美術品ノ陳列場ニハ確實ナル看守人ヲ置キ晝夜ノ別ナク之ヲ監視セシムルコト

第十一條 古美術品ハ夜間觀覽ヲ許ササルモノトス

第十二條 古美術品ハ博覽會閉會後速ニ本邦ニ積戻シ出品人ニ還付スヘシ

積戻又ハ還付ニ關スル取扱方ハ發送又ハ受取ノ場合ノ取扱方ニ準スルモノトス

○内閣告示第四號

明治四十一年十月十二日 内閣告示第五號鐵道管理局ノ名稱位置及管理區域中 中部鐵道管理局管理區域ノ欄名古屋三留野間ヲ名古屋野尻間ト改ム

明治四十二年九月一日

内閣總理大臣 侯爵桂太郎

○内閣告示第五號

北海道ニ種馬所ヲ設置シ其ノ名稱位置左ノ通定ム

明治四十二年九月四日

内閣總理大臣 侯爵桂太郎

名稱 長岡郡種馬所

位置

北海道膽振國山越郡長岡郡村

○内閣告示第六號

明治四十一年十月十二日 内閣告示第五號鐵道管理局ノ名稱位置及管理區域中 西部鐵道管理局管理區域ノ欄姫路豐岡間ヲ姫路城崎間ト改ム

明治四十二年九月四日

内閣總理大臣 侯爵桂太郎

○鐵道院告示第四十四號

明治四十一年十月十二日 鐵道院告示第四號鐵道管理局内各事務所ノ名稱位置及所管區域中 中部鐵道管理局名名古屋運輸事務所名古屋保線事務所名古屋出納事務所ノ各所管區域ノ欄名古屋三留野間ヲ名古屋野尻間ト改ム

明治四十二年九月一日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第四十五號

本月三日ヨリ小野濱停車場及新川荷扱所ニ於テ通常扱大貨物(級外品共)ノ取扱ヲ開始ス

明治四十二年九月二日

鐵道院總裁 男爵後藤新平

○鐵道院告示第四十六號

明治四十二年九月五日ヨリ豐岡城崎間鐵道運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ如シ

明治四十二年九月四日

哩程

豐岡城崎間 六哩

○鐵道院告示第四十七號

明治四十一年十二月鐵道院告示第四號鐵道管理局內各事務所ノ名稱位置及所管區域中西部鐵道管理局兵庫係線事務所所管區域ノ欄姫路豐岡間ヲ姫路城崎間ニ改ム

明治四十二年九月四日

○鐵道院告示第四十八號

明治四十二年十月十五日ヨリ宇佐停車場ヲ柳ヶ浦停車場ト改稱ス

明治四十二年九月十八日

○鐵道院告示第四十九號

明治四十二年九月二十一日ヨリ日本線中山小島谷間ニ小繫停車場ヲ設置シ運輸營業ヲ開始ス其哩程左ノ如シ

但シ一車積貨物ヲ取扱ハス

明治四十二年九月十八日

○鐵道院告示第五十號

明治四十一年鐵道院告示第四號鐵道管理局內各事務所ノ名稱位置及所管區域中西部鐵道管理局管

內下關出納事務所ヲ來ル月三十日限り廢止ス

明治四十二年九月二十二日

○鐵道院告示第五十一號

明治四十二年九月二十五日限り北海道線龜田停車場ハ當分之ヲ閉鎖ス

明治四十二年九月二十五日

○宮内省告示第九號

宮内傳染病豫防令ノ規定ニ依リ韓國ヲ以テ虎列刺有病地ト指定ス

明治四十二年九月二十七日

○宮内省告示第十號

皇太子殿下北陸地方行啓各地ノ御旅館ニ宮内傳染病豫防令中虎列刺豫防ニ關スル規定ヲ準用ス

明治四十二年九月二十七日

○外務省告示第九號

明治四十二年六月十九日在伊國メニイヌ帝國名譽領事館ヲ閉鎖セリ

明治四十二年九月一日

○内務省告示第百六號

明治三十二年法律第十九號海港檢疫法並明治四十年內務省令第十三號海港檢疫法施行規則第十四條ニ依リ明治四十二年九月七日ヨリ清國營口牛莊地方及安東縣地方ヲ虎列刺流行地ト指定ス

明治四十二年九月三日

明治四十二年九月 告示 鐵道院第五十一號 宮内省第九號 第十號 外務省第九號 內務省第百六號

一六二一

○内務省告示第百七號

一割引券

一枚 横濱市松影町一尾藤藤三郎 發行

但正金引換券、壹圓横濱松影角美濃屋吳服店トアルモノ
右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十二年九月二日
發賣頒布禁止及刻版竝印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

明治四十二年九月四日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第百八號

千九百〇九年八月五日發行

一週刊勞動第一號

千九百〇九年八月十四日發行

一週刊勞動第二號

右ハ安寧秩序ヲ紊スモノト認ムルヲ以テ新聞紙法第二十四條第一項ニ依リ明治四十二年九月五日
本法施行ノ地域内ニ於ケル發賣及頒布ヲ禁止シ之ヲ差押フ

明治四十二年九月六日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第百九號

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

一明治四十二年九月九星便

明治四十二年九月 告示 内務省第百十一號 第百十二號 第百十三號

一六二三

右出版物ハ略本層類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

○内務省告示第百十一號

明治四十二年九月十六日 内務大臣 法學博士男爵平田東助

一新版同手フク
一ワットセム
一ワットセム
一ワットセム

茨城縣真壁郡真壁町十七番地 木村錦榮 發行

右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十二年九月十五日發
賣頒布禁止及刻版竝印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

明治四十二年九月十六日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第百十二號

一生殖器病要鑑 一冊 東京市京橋區桶町三十二番地 丸山萬五郎 發行

右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十二年九月十六日發
賣頒布禁止及刻版竝印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

明治四十二年九月十七日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第百十三號

一紙幣形圖畫 二種二枚 發行者未詳

但シ大日本小供銀行百億圖、大尉ト記載アルモノ
一紙幣形圖畫 二種二枚
同 但シ大日本小供銀行百億圖、大尉ト記載アルモノ
上、石火矢ト記載アルモノ 一枚

右何レモ第一勉強七五三〇、日本小供手遊用、商賣繁榮ト記載アリ
右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十二年九月十六
日發賣頒布禁止及刻版竝印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

明治四十二年九月十七日 内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第百十四號

明治四十二年内務省告示第百六號中「安東縣地方」ノ下ニ「敦韓國仁川地方及龍巖滯地方」ヲ追加シ
明治四十二年九月二十一日ヨリ之ヲ實施ス

明治四十二年九月十八日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第百十五號

明治四十二年東京市ニ於テ發行ノ九月一日號(第十號)無名通信同月十五日號(第十一號)無名通信
ハ安寧秩序ヲ紊スモノト認ムルヲ以テ新聞紙法第二十三條ニ依リ同年九月二十日共發賣頒布ヲ禁
止シ之ヲ差押フ

明治四十二年九月二十一日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第百十六號

古社寺保存法第四條ニ依リ左記ノ物件ヲ以テ國寶ノ資格アルモノト定ム

明治四十二年九月二十一日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

等級	種類	品名	目	所	有者
丙種	刀劍	絲卷太刀 銘帽次	一口	京都府京都市上京區馬喰町	北野神社
甲種四等	彫刻	木造藥師如來坐像	一軀	同下京區小松町	珍皇寺
丙種	繪畫	石造狛犬	一對	同長野縣郡松本村	岐社
同種	繪畫	紙本着色花園天皇御像	一幅	同長野縣郡松本村	福福寺
同種	繪畫	木造神像 傳茶川勝像	一軀	同太宰府	隆隆寺
同種	繪畫	精本着色花園天皇御像 附紙本着色同御像一幅	一幅	同花園村	妙心寺

甲種四等	同上	紙本墨斑猿猴圖等伯筆	二幅	同	龍泉庵
同上	彫刻	木造地藏菩薩立像	一軀	同法	金剛院
丙種	刀劍	革包太刀(笹丸)同宗ノ銘アリ	一口	同法	岩神社
甲種二等	彫刻	木造聖觀音立像	一軀	同法	龍泉寺
同種	藝術工	螺鈿如意	一柄	同法	寶院
同上	彫刻	木造藥師如來坐像	一軀	同法	寶院
丙種	藝術工	銅鏡天鏡三年鑄造ノ銘アリ	一口	同法	寶院
同上	同上	銅鏡大平十年二月日ノ銘アリ	一口	同法	寶院
同上	金石文	高屋連故人墓誌蓋付	一枚	同法	寶院
同上	同上	紀吉繼墓誌蓋付	一枚	同法	寶院
甲種三等	彫刻	銅造藥師如來立像	一軀	同法	寶院
同上	同上	金銅藥師如來倚像	一軀	同法	寶院
同上	同上	木造聖觀音立像	一軀	同法	寶院
同四等	藝術工	鍍金舍利塔 正應三年七月ノ銘アリ	一基	同法	寶院
同上	彫刻	木造聖觀音立像	一軀	同法	寶院
同上	同上	木造四天王立像	四軀	同法	寶院
同上	同上	木造菩薩坐像 傳文殊菩薩像(三重塔安置)	一軀	同法	寶院

同四等	同上	工美術	鍍金能作生塔	一基	同北生駒村	福安寺
同三等	同上	工美術	木造獅上文殊菩薩像	一羂	同平嶋村	安起寺
同上	同上	彫刻	銅造菩薩立像 傳虛空藏菩薩像	一羂	同寶壽村	起寺
甲種四等	同上	同上	蠶太鼓	一對	同	起寺
同三等	同上	工美術	銅狩機機鉢 傳四天王杖銘旗	一面	同	起寺
甲種四等	同上	同上	木造聖德太子立像 (夢殿安置)	一羂	同法隆寺村	隆寺
同上	同上	同上	木造地藏菩薩半跏像 (地藏堂安置)	一羂	同	隆寺
甲種四等	同上	同上	木造金剛力士立像 (頭部塑造)	二羂	同	隆寺
同三等	同上	工美術	銅狩機機鉢	一面	同	隆寺
甲種四等	同上	同上	蠶太鼓	一對	同	隆寺
同上	同上	彫刻	銅造菩薩立像 傳虛空藏菩薩像	一羂	同寶壽村	起寺
同三等	同上	工美術	木造獅上文殊菩薩像	一羂	同平嶋村	安起寺
同四等	同上	工美術	鍍金能作生塔	一基	同北生駒村	福安寺
甲種四等	同上	同上	木造聖德太子立像 (夢殿安置)	一羂	同法隆寺村	隆寺
同上	同上	同上	木造地藏菩薩半跏像 (地藏堂安置)	一羂	同	隆寺
同上	同上	同上	木造行基菩薩坐像	一羂	同	隆寺
同上	同上	同上	乾漆菩薩立像 傳彌世音菩薩像	一羂	同	隆寺
同上	同上	同上	水造菩薩立像 傳大自在菩薩像 (兩手缺損)	一羂	同都路村	招提寺
同三等	同上	工美術	鐵製多寶塔 弘安七年ノ銘アリ	一基	同伏見村	大條寺
同上	同上	工美術	木造菩薩立像 傳大自在菩薩像	一羂	同都路村	招提寺
同四等	同上	彫刻	押出銅造三尊佛	一面	同	招提寺
同上	同上	同上	水造菩薩立像 (面部兩手缺損)	一羂	同	隆寺
同上	同上	同上	乾漆菩薩立像 傳彌世音菩薩像	一羂	同	隆寺
同上	同上	同上	木造行基菩薩坐像	一羂	同	隆寺
甲種四等	同上	同上	木造大黑天立像 (大黒堂安置)	一羂	同生駒郡矢田村	尾寺
同上	同上	同上	木造十一面觀音立像	一羂	同	尾寺
同上	同上	同上	木造地藏菩薩立像	一羂	同平城村	大條寺
同上	同上	同上	鐵製多寶塔 弘安七年ノ銘アリ	一基	同伏見村	大條寺
同上	同上	同上	木造菩薩立像 傳大自在菩薩像 (兩手缺損)	一羂	同都路村	招提寺
同上	同上	同上	押出銅造三尊佛	一面	同	招提寺
同上	同上	同上	水造菩薩立像 (面部兩手缺損)	一羂	同	隆寺
同上	同上	同上	乾漆菩薩立像 傳彌世音菩薩像	一羂	同	隆寺
同上	同上	同上	木造行基菩薩坐像	一羂	同	隆寺
甲種四等	同上	同上	木造聖德太子立像 (夢殿安置)	一羂	同法隆寺村	隆寺
同上	同上	同上	木造地藏菩薩半跏像 (地藏堂安置)	一羂	同	隆寺
同上	同上	同上	木造金剛力士立像 (頭部塑造)	二羂	同	隆寺
同三等	同上	工美術	銅狩機機鉢 傳四天王杖銘旗	一面	同	隆寺
甲種四等	同上	同上	蠶太鼓	一對	同	隆寺
同上	同上	彫刻	銅造菩薩立像 傳虛空藏菩薩像	一羂	同寶壽村	起寺
同三等	同上	工美術	木造獅上文殊菩薩像	一羂	同平嶋村	安起寺
同四等	同上	工美術	鍍金能作生塔	一基	同北生駒村	福安寺

同上	同上	彫刻	銅造菩薩半跏像 傳如意輪觀音像	一羂	同山邊郡世原村	野寺
同三等	同上	工美術	木造菩薩立像 傳聖觀音像	一羂	同針ヶ所村	龍寺
同上	同上	同上	塑造彌勒佛坐像 (金堂安置)	一羂	同北葛城郡富麻村	麻村寺
甲種三等	同上	同上	木造阿彌陀如來坐像 (講堂安置)	一羂	同	麻村寺
同上	同上	同上	乾漆四天王立像 (所在金堂)	四羂	同	麻村寺
同上	同上	同上	水造十一面觀音立像 (所在本堂)	一羂	同	麻村寺
同四等	同上	同上	水造妙幢菩薩立像 (所在講堂)	一羂	同	麻村寺
同上	同上	同上	水造阿彌陀如來坐像 (同上)	一羂	同	麻村寺
同上	同上	同上	水造吉祥天立像 (所在金堂)	一羂	同	麻村寺
同上	同上	同上	水造十一面觀音立像	一羂	同	麻村寺
甲種三等	同上	同上	水造聖觀音立像	一羂	同	麻村寺
同上	同上	同上	水造千手觀音立像	一羂	同	麻村寺
同上	同上	同上	水造邊磨坐像 永享二年ノ銘アリ	一羂	同王子村	麻院
同上	同上	同上	水造如意輪觀音坐像 (觀音堂安置)	一羂	同高市郡高市村	麻院
同上	同上	同上	水造聖德太子坐像 (太子殿安置)	一羂	同	麻院
甲種三等	同上	同上	水造地藏菩薩立像 (所在觀音堂)	一羂	同	麻院
同四等	同上	同上	水造蠶太鼓	一箇	同	麻院寺

同上	刀劍	絲卷太刀 鎗光忠	一口	同綴川部村案町 大社
甲種三等	彫刻	金剛薩埵坐像 金剛王菩薩坐像 不動明王坐像 降三世明王立像 普賢延命菩薩坐像 虚空藏菩薩坐像 虛空藏菩薩坐像 (所在金堂)	六座	和歌山縣伊都郡高野村 金山剛造寺
丙種	刀劍	絲卷太刀 鎗長光(初代)	一口	熊本縣阿蘇郡宮地町 阿蘇神社

○内務省告示第百十七號

明治四十二年九月十九日福岡縣久留米市ニ於テ發行ノ九州滑稽第壹號ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルヲ以テ新聞紙法第二十三條ニ依リ同年同月二十一日其發賣頒布ヲ禁止シ之ヲ差押フ

○内務省告示第百十八號

樺太廳及其ノ所屬各官廳職務時間開閉ヲ經テ自今左ノ通繰替施行ス
明治四十二年九月二十二日
内務大臣 法學博士男爵平田東助

- 一月一日ヨリ二月末日迄 午前十時ヨリ午後二時ニ至ル
- 三月一日ヨリ四月三十日迄 午前九時ヨリ午後四時ニ至ル
- 五月一日ヨリ十月三十一日迄 午前八時ヨリ午後四時ニ至ル
- 十一月一日ヨリ十二月三十一日迄 午前九時ヨリ午後三時ニ至ル

○内務省告示第百十九號

一閣中之秘訣 一枚
盛岡市穀町佐羽内富 發行

右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十二年九月二十四日發賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ
明治四十二年九月二十七日 内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第百二十號

一歡樂 一册
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十二年九月二十四日發賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ
明治四十二年九月二十七日 内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第百二十一號

一近代文學譯註叢書 第二編 全一册
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十二年九月二十八日發賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ
明治四十二年九月二十九日 内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省告示第百二十二號

一中學文壇 第十一卷二百七十六號 一册
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十二年九月二十九日發賣頒布禁止及刻版並印本差押ノ處分ヲ爲シタリ
明治四十二年九月三十日 内務大臣 法學博士男爵平田東助

○大藏省告示第百二十七號

明治四十二年十月一日ヨリ同月三十一日マテ稅關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣比較表左ノ通之ヲ定ム

但本表所掲ノ外外國貨幣ト日本金貨トノ比較ハ從前ノ通

明治四十二年九月一日

大藏大臣 侯爵桂太郎

内外貨幣比較表

外 國 貨 幣	日 本 金 貨	
	上 海 一 兩	一 兩
清 國 兩	天津一兩	一九四〇
墨 西 哥 弗 銀	漢口一兩	一六八
英 吉 利 弗 銀	一ドルラ	八四八
香 港 弗 銀	一ドルラ	八四八
英 領 印 度 貨	一ルーピー	八五四
暹 羅 貨	一チカル	六五〇
		七五八

○大藏省告示第百二十八號

第二回國庫債券ノ内二千萬圓ハ本年十月三十日之ヲ償還ス

抽籤ハ本年十月一日之ヲ執行ス

第一項ノ償還金額ハ抽籤ノ都合ニ因リ多少増減ヲ生スルコトアルヘシ

明治四十二年九月十五日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第百二十九號

明治三十七年募集舊關西鐵道株式會社債四萬二千九百三十圓(政府承繼額全部)ハ來ル十月三

十日之ヲ償還ス

明治四十二年九月十五日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第百三十號

無記名軍事公債證書紛失ニ由リ代證券ヲ交付シタル原證券ノ額面金額種類枚數發行年記號及番號等左ノ如シ

明治四十二年九月十六日

大藏大臣 侯爵桂太郎

額面金額種類	枚數	發行年	記號	番號	附屬利札
五拾圓	一	明治二十八年	ハ	九〇五五	明治三十六年十二月渡以降
同	二	同三十一年	ハ	七七八五	同

○大藏省告示第百三十一號

紛失ニ因リ效力ヲ失ヒタル記名國債證券ノ利札左ノ如シ

明治四十二年九月十八日

大藏大臣 侯爵桂太郎

證券種類	額面金額種類	記號	番號	利子仕拂期
軍事公債證券	百圓	ハ	四九九七	明治四十三年六月
同	五拾圓	同	五五八四	同

○大藏省告示第百三十二號

減失又ハ紛失ニ因リ效力ヲ失ヒタル記名國債證券左ノ如シ

明治四十二年九月十八日

大藏大臣 侯爵桂太郎

證券種類	額面金額種類	記號	番號	附屬利札	代證券交付年月日	仕拂期開始利札ニ對スル代現金仕拂年月日	記名者
整理公債證券	百圓	ハ	四九九七	附屬利札	明治四十一年六月渡以降	明治四十二年四月五日	靜樂 景介

明治四十二年九月 告示 大藏省第百三十號 第百三十一號 第百三十二號

一六三三

軍事公債證書 同 同 同 同
 同 同 同 同
 同 同 同 同
 ○大藏省告示第三百三十三號
 無記名軍事公債證書紛失ニ由リ代證券ヲ交付シタル原證券ノ額面金額種類枚數發行年記號及番號等左ノ如シ
 同 同 同 同
 同 同 同 同
 同 同 同 同
 同 同 同 同

明治四十三年九月十八日

大藏大臣 侯爵桂太郎

額面金額 枚數 發行年 記號 番號 附屬利札
 同 同 同 同 同 同

○大藏省告示第三百三十四號
 製造煙草定價左ノ通相定ム

明治四十三年九月十八日

大藏大臣 侯爵桂太郎

種類 製造所 名 稱 價
 板煙草 米國レラス 上 ()
 同 上 ()
 同 上 ()
 同 上 ()
 同 上 ()

○大藏省告示第三百三十五號
 明治四十三年三月三十一日大藏省告示第五十號ニ依ル門司本金庫所屬下關鐵道派出所ヲ本年九月三十日限り廢止ス

明治四十三年九月二十三日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第三百三十六號
 一大藏省證券額面參千百七拾萬圓

但大藏省證券條例ニ依ル分

仕拂期日 明治四十三年十二月二十日

一大藏省證券額面五百參拾萬圓

但明治三十八年法律第十七號ニ依ル分

仕拂期日 明治四十三年十二月二十日

右割引ノ方法ヲ以テ本月二十三日之ヲ發行セリ

明治四十三年九月二十五日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省告示第三百三十七號
 煙草專賣法施行細則第三十一條ニ依リ徵收スル製造煙草ノ保管料左記ノ通トシ現品引取ノ際之ヲ徵收ス

明治四十三年九月二十七日

大藏大臣 侯爵桂太郎

兩切紙卷煙草(八千本入) 一箱一日二付 一錢
 同(二萬本入) 同 三錢
 同(五萬本入) 同 七錢
 同(五萬五千本入) 同

○大藏省告示第三百三十八號
 無記名軍事公債證書紛失ニ由リ代證券ヲ交付シタル原證券ノ額面金額種類枚數發行年記號及番號等左ノ如シ

明治四十三年九月二十七日

大藏大臣 侯爵桂太郎

額面金額 枚數 發行年 記號 番號 附屬利札
 同 同 同 同 同 同
 同 同 同 同 同 同
 同 同 同 同 同 同
 同 同 同 同 同 同

明治四十三年九月 告示 大藏省第三百三十七號 第三百三十八號

○大藏省告示第百三十九號
紛失ニ因リ效力ヲ失ヒタル記名國債證券ノ利札左ノ如シ

明治四十二年九月二十九日

證券種別	額面金	記號	番號	利子仕拂期	利金仕拂年月日
整理公債證券	五百圓	同	四七〇八	明治四十一年六月	明治四十二年六月二十五日
軍軍公債證券	五百圓	同	四八九四	同四十二年六月	同
同	同	同	五七六六	同四十一年六月	同
同	同	同	五九四八	同四十一年六月	同
同	同	同	五九四八	同四十一年六月	同
同	同	同	五八五八	同四十一年六月	同
同	同	同	五九〇九	同三十七年十二月	同
同	同	同	五八五七	同四十一年十二月	同
同	同	同	四九〇九	同四十一年十二月	同
同	同	同	四九〇九	同四十一年六月	同
同	同	同	五五五六	同三十九年十二月	同

大藏大臣 侯爵桂太郎

利金仕拂年月日

○大藏省告示第百四十號
無記名國債證券ノ利札紛失ニ對シ利金ヲ仕拂ヒタルモノノ左ノ如シ

明治四十二年九月二十九日

證券種別	額面金	記號	番號	利子仕拂期	紛失届出年月日
軍軍公債證券	五百圓	同	四八九七	明治三十四年六月	明治三十五年九月二日
同	同	同	五九六六	同三十五年六月	同三十七年八月二十九日

大藏大臣 侯爵桂太郎

紛失届出年月日

○海軍省告示第十三號

海軍少軍醫及海軍少軍醫候補生二十名採用候補者免許證若ハ醫術開業免狀ヲ有シ本年十二月ニ於テ年齡滿二十年以上少軍醫ニ在リテハ三十二年未滿明治十一年一月ヨリ同少軍醫候補生ニ在リテハ二十八未滿明治十五年一月ヨリ同ニニシテ出身志願ノ者ハ海軍高等武官補充條例

明治四十年七月海軍省令第九號ニ依リ本年十一月十五日マテニ海軍省人事局長ニ出願スヘシ採用身體検査及學術試験ハ本年十一月二十四日ヨリ左ノ場所ニ於テ開始ス
東京 築地海軍軍醫學校
吳 吳海軍病院
佐世保 佐世保海軍病院
海軍高等武官補充條例ニ明治四十年七月海軍省令第九號採用規則ヲ要スル者ハ口頭又ハ書面ヲ以テ海軍省人事局ニ申出ヘシ
明治四十二年九月一日
海軍大臣 男爵齋藤實

○司法省告示第四十八號

大阪市北區役所吏員上福島派出所明治四十二年七月三十一日火災ニ罹リ同所備附ニ係ル左記各町ノ出入寄留證燒失シタルニ付キ現ニ同町ニ寄留スル者又ハ同町ヨリ他ニ出寄留中ノ者ハ明治四十二年十二月十四日マテニ明治十九年内務省令第十九號中寄留者届出ニ關スル規定ニ依リ其出入寄留ヲ更ニ同區長ニ届出ツヘシ
明治四十二年九月十五日
司法大臣 子爵岡部長職

町名	上福島中四丁目	下福島五丁目
梅田町	上福島中四丁目	下福島五丁目
曾根崎永樂町	上福島北五丁目	安井町
曾根崎上登丁目	上福島北四丁目	西野田半松町
曾根崎上四丁目	上福島北三丁目	西野田半開町
曾根崎上三丁目	上福島北二丁目	西野田玉川町登丁目
曾根崎上二丁目	上福島北一丁目	西野田玉川町登丁目
曾根崎中登丁目	下福島登丁目	西野田玉川町登丁目
曾根崎中下丁目	下福島下丁目	西野田玉川町登丁目
東梅田町	上福島中登丁目	西野田玉川町登丁目
	上福島中下丁目	西野田總甲北之町

西野田龜甲南之町 西野田今開町 西野田兼平町 西野田上島町
 西野田中江町 西野田大野町登下目 西野田茶園町 西野田下島町
 西野田江成町 西野田大野町下目 西野田大開町 西野田緒ヶ崎町
 西野田吉野東之町 西野田十六町 西野田新家東之町 計五十三箇所
 西野田吉野西之町 西野田對込町 西野田新家西之町

○司法省告示第四十九號

長野地方裁判所管内伊那區裁判所朝日出張所ニ備ヘアル左記ノ舊公證簿鼠害ニ罹リ滅失シタリ

明治四十二年九月十六日

司法大臣 子爵岡部長職

○司法省告示第五十號

長野縣上伊那郡小野村地所賣買公證簿印帳 自明治九年及同十八年合算中

○司法省告示第五十一號

大阪控訴院及大阪地方裁判所ノ廳舎本年七月三十一日火災ニ罹リ民事、刑事ノ訴訟事件及非訟事件ニ關スル左記未済記録焼失シタルニ付右事件ニ關シ同控訴院又ハ同地方裁判所ニ上告狀、控訴狀、抗告狀、訴狀、答辯書、申請書、申立書又ハ告訴狀若ハ告發狀、私訴狀等ヲ差出シタル者ハ本年十二月二十日マテニ其寫ヲ同控訴院又ハ同地方裁判所ニ差出ス可シ

明治四十二年九月二十二日

司法大臣 子爵岡部長職

- 一 土地登記簿第一册及第二册 二册 一 土地登記簿第九册乃至第十三册 五册
- 一 土地登記簿第十三册 一册 一 土地登記簿第八册乃至第十三册 六册

大阪控訴院ノ部
 民事事件及非訟事件
 控訴

年度	番號	訴名	控訴人	被控訴人
二五	ネ一八一	收入權回復主參加	多田宗七	山中淺次郎
二六	ネ一四八	無抵當貸付金	高山和八	辻花治郎
三〇	ネ四六三	貸金及繰替金請求	近藤平吉	近藤榮吉
三二	ネ四四八	工事請負金請求	宮崎平吉	山中真繁
三三	ネ二二四	手附金請求	高松實三	勢和鐵道株式會社
三三	ネ一四二	違約金請求	前川慎造	吉川徳三郎
同	ネ一四四	買取契約解除違約金請求	寺岡正	勢和鐵道株式會社
同	ネ一四五	鐵道車輛製造契約手附金請求	所澤鐵道車輛製造	勢和鐵道株式會社
同	ネ五九二	買取料取得權確認	ワイチエハ	石月キ
同	ネ五九五	湯屋營業認可申請手續請求	松原伊之助	松原フク
三四	ネ七四一	約束手形金	古藤藤清	梁川勤
三五	ネ三九	預金請求	伊藤商業銀行	阿波共同汽船株式會社
同	ネ一七七	株式公賣不足追徴金請求	松原喜平	志野清治
同	ネ二一五	株式買取不足金請求	桑野嘉三郎	石造鐵道株式會社
同	ネ二九四	持込品取戻請求	松田マサノ	宮前彌三吉
同	ネ四二七	労働賃金殘額請求	帝國殖民合資會社	林茂
同	ネ七一五	約束手形金請求	加藤忍九郎	稻葉彦一郎
同	ネ八二四	強制執行異議	伊藤雄吉	木村表齊

同	ネ二九五	疏水加留金返還致損害賠償請求	荒木 鉄藏	魚住 信實太郎
同	ネ三〇五	損害賠償	共同車船株式会社	東京海上保險株式会社
同	ネ三〇八	所有権確認請求	長谷川 清治	勝部 重右衛門
同	ネ三一六	取立金引渡請求	上谷 繁太郎	蒲田 利八
同	ネ三二二	損害賠償	波松 方松	岡崎 隆吉
同	ネ三二三	手附金取戻並損害賠償	柏木 宇治郎	三井 岩造
同	ネ三二七	請求	小塚 又右衛門	佐久間 福太郎
同	ネ三三七	損害賠償請求	山田 利兵衛	安田 市次郎
同	ネ三四六	損害賠償請求	植田 森太郎	帝國 鐵道
同	ネ三六〇	不當利得金返還	田中 留吉	高岡 治右衛門
同	ネ三七二	土地抵當權登記抹消致請求	佐久間 福太郎	井上 音五郎
同	ネ三七九	公債證書競買代金引渡請求	陰山 真雄	宇川 太治郎
同	ネ三八一	木材引渡請求	窪田 録次	豊 子 壯
同	ネ四〇一	土地建物買契約履行	村山 藤次	橋 富七平
同	ネ四〇三	損害賠償	アーンセン	水 下 源 吉
同	ネ四〇七	私生子認知	井上 綾子	飛鳥 井 雅廣
同	ネ四〇九	損害賠償	安田 幸次郎	紫 田 一 榮
同	ネ四一八	損害賠償	安田 昭事合名會社	オストアシアチン
同	ネ四三〇	損害賠償	畑 中新藏	ゼルハンデルスグ

二八八號
ト合併

同	ネ四三五	同	帝國海上運送火災保險會社	オストアシアチン
同	ネ四三六	同	會社 浦炭坑	ゼルハンデルスグ
同	ネ四三八	過渡金返還	住野 菊太郎	オストアシアチン
同	ネ四三九	所有権確認立木伐採差止	梅本 甚平	ゼルハンデルスグ
同	ネ四五二	所有権移轉登記抹消請求	南 澤 八郎	石井 榮十郎
同	ネ四七八	損害賠償	多田 忠七	河野 ソノ
同	ネ四八〇	貸地料増額請求	齊藤 惣吉	木村 菊藏
同	ネ四八二	報酬金請求本訴及反訴	石井 文太郎	大坂アルカリ株式
同	ネ四八九	親族會議不服	瀧口 ナ	小西 豊太郎
同	ネ四九〇	賣掛代金請求	伊丹機寸株式會社	小田 勇助
同	ネ四九四	保險金請求	眞宗信生生命保險株式會社	田中 一
同	ネ五〇〇	賣掛代金其他請求	ミナト	本 田 録 郎
同	ネ五一一	請負金請求	寺田 又造	島 中 初 次
同	ネ五一二	約束手形金請求	古 藤 清	長谷川 勝助
同	ネ五一三	辨償金請求	藤田 信次郎	羽室 九右衛門
同	ネ五一九	損害賠償請求	垣谷 谷藏	大 橋 幸 人
同	ネ五二九	株式買戻不足額請求	株式佛敎生命保險	下村 辰右衛門
同	ネ五三二	貨物同濟契約返約損害賠償請求	廣海 二三郎	鈴木 樹次郎
同	ネ五四〇	所有権登記抹消及所有権取得登記抹消請求	廣塚 萬次郎	福 塚 外 保 治

同	抹消	友田吉太郎	辻本
同	贈代金及購買手数料及	松谷才助	有限責任大山生産
同	反訴請求	三野コト	販賣組合
同	寄託物返還請求	森下兵治	伏見善七
同	假處分取消請求	中島永次郎	結城外八
同	信託金取戻請求	久保田與三郎	地主神
同	所有權取得登記抹消	磯野源治郎	長尾山太郎
同	小作料米免除減額	泉谷兵太郎	坂東市兵衛
同	損害賠償請求	交野市太郎	安本安次郎
同	工事金請求	大野彌平	前田佐三郎
同	約束手形金請求	鹽本市次郎	高田嘉介
同	道路保險料返還請求	船倉久吉	杉野卯之資
同	賣掛代金請求	藤田金兵衛	阿江正一
同	同	加藤	柴田房次
同	損害賠償請求	前田次五郎	小西増藏
同	同	東林又藏	東京火災海上運送
同	同	西田庄吉	川田和次郎
同	同	八田庄吉	新宮共益株式會社
同	同	竹田フサ	吉永辰三郎
同	同	川島幸十郎	小門
同	同		坂本次太郎

同	報酬金請求	淺田サト	村田
同	債務弁済請求	大坂製糖株式會社	遊上
同	材木代金償還請求	山野上松	江中
同	賣掛代金請求	中野善右衛門	長願寺
同	所有權取得登記抹消	上野六八銀行	土鹿岩
同	登記抹消	小栗松三郎	片寄伴之助
同	工事請負金及辨済金請求	是則照義	廣海仁三郎
同	運送貨物請求	中川由太郎	山縣勇三郎
同	契約履行請求	妻鹿十郎兵衛	揚小三郎
同	手附金取戻損害賠償請求	古田	飯田阿江
同	地上権假登記抹消手續請求	倉長馬本家同済	大谷源本願寺
同	利息金貸借金願請求	法部	商事株式會社
同	損害賠償	小島金次郎	明王院
同	同	林藤吉	東京火災保險株式會社
同	同	保田總一郎	小泉音松
同	同	和久伊兵衛	辻細吉之助
同	同	米田清八	紀谷川勝助
同	同	揚小三郎	長谷川勝助
同	同	山田啓助	中川由太郎
同	同		米岡貿易會社

同	不當利得金返還請求	大 夏 秀 松	小 西 明 治 郎
同	不動產登記取消請求	志 賀 世 治	名 手 山 兵 衛
同	不動產所有名義移轉登記請求	森 萬 平	角 田 定 治 郎
同	約束手形金請求	中 井 鶴 次 郎	長 尾 元 七 郎
同	讓受債權消滅請求	伊 藤 忠 兵 衛	森 島 嘉 兵 衛
同	約束手形金請求	平 田 省 香	土 井 鶴 太 郎
同	假處分命令異議申立	岡 田 省 香	太 田 卯 之 助
同	材木代及委託販賣金請求	新 堂 庄 太 郎	株 式 長 馬 銀 行
同	貸 金 請 求	商 事 株 式 會 社	會 社 長 馬 銀 行
同	損害賠償請求	湯 淺 竹 之 助	組 野 吉 三 郎
同	貸掛代金並損害賠償	谷 村 彌 平	總 村 治 郎 兵 衛
同	登記抹消請求	一 井 政 七	手 塚 半 右 衛 門
同	食地料値上請求	折 目 宇 藏	大 坪 喜 八 郎
同	委託金辨償請求	和 田 佐 一 郎	福 森 政 二 郎
同	假處分當否二付相手方呼出申立	和 田 佐 一 郎	福 森 政 二 郎
同	同	和 田 佐 一 郎	保 川 兼 吉
同	損害賠償請求	株 式 長 馬 銀 行	井 上 虎 之 助
同	証據金返還請求	西 村 一 郎	梅 川 馬 五 郎
同	約束手形金償還請求	小 原 下 三 郎	梅 谷 嘉 平
同	不動產登記抹消請求	土 井 芳 盛	山 下 春 藏
同	土地所有權確認請求	宮 谷 美 方 衛	水 田 富 右 衛 門
同	貸 金 請 求	立 入 弁 治 郎	
同	地所買契約履行請求	古 館 三 四 三	

ノ控訴記録
ニシテ
燒燬
使用
ス

同	約束手形金請求	尼 崎 吉 太 郎	滿 倉 新 次 郎
同	野須新兵衛ニ對スル私印盗用公私文書偽造行使詐欺取財等私訴	後 藤 あ さ の	野 須 新 兵 衛
同	拂過金返還請求	田 中 九 平	高 島 増 藏
同	同	佐々木利平	久 米 彌 三 郎
同	不動產買及所有權移轉登記無効確認請求	島 村 祐 之	今 村 貞 吉
同	損害賠償請求	乾 井 喜 一 郎	沖 井 隆 七 郎
同	保屋立退請求	築 山 新 兵 衛	近 藤 正 三 郎
同	保證金取戻請求	望 月 久 吉	滑 川 秀 平
同	保管金引渡請求	竹 田 久 吉	中 越 汽 船 株 式 會 社
同	保險金返還請求	柏 田 久 治 郎	株 式 會 社 大 和 銀 行
同	損害賠償請求	山 田 多 右 衛 門	田 中 宗 助
同	保證債務履行請求	土 井 鶴 太 郎	大 阪 信 託 株 式 會 社
同	預 金 請 求	原 田 喜 三 郎	岡 田 門 太 郎
同	抵當權無効確認並返還取下手續請求	正 木 喜 三 郎	岡 木 文 吉
同	約束手形金請求	中 井 新 吉 郎	高 見 文 吉
同	養子縁組無効請求	山 井 爲 助	近 藤 文 吉
同	建物買拂代金請求	山 西 雅 之	日 本 債 券 株 式 會 社
同	貸 金 請 求	同	川 口 幸 介
同	契約金支拂請求	同	光 川 彦 兵 衛
同	保證債務履行請求	同	
同	報謝金返還請求	同	
同	寄託物引渡若ハ損害賠償	同	

ニ但シテ
燒燬
使用
ス

同	三三九六	契約履行請求	石井儀右衛門	山地元治	ノ控訴記録
同	三三九七	損害賠償請求	鷲尾長三	岸一平	ノ控訴記録
同	三三九八	約束手形金請求	平石虎三郎	都築半平	ノ控訴記録
同	三三九九	貸付金請求	公文卯之助	納泉喜太郎	ノ控訴記録
同	三四〇〇	同	清水弘	深井伊三郎	ノ控訴記録
同	三四〇一	同	井口島吉	横濱火災海上運送信用保険株式會社	ノ控訴記録
同	三四〇二	同	中村雄三	井上卯兵衛	ノ控訴記録
同	三四〇三	同	溝口榮造	天野利三郎	ノ控訴記録
同	三四〇四	同	株式八十九銀行	鹽田慶太郎	ノ控訴記録
同	三四〇五	同	小谷忠三郎	エムラスベウント	ノ控訴記録
同	三四〇六	同	三輪嘉兵衛	石井儀右衛門	ノ控訴記録
同	三四〇七	同	山地元治	平尾音吉	ノ控訴記録
同	三四〇八	同	秋岡政治郎	太田末吉	ノ控訴記録
同	三四〇九	同	井上作右衛門	伊勢萬治	ノ控訴記録
同	三四一〇	同	寺井カヲ	久保恒雄	ノ控訴記録
同	三四一一	同	久保フナ	宗徳龜吉	ノ控訴記録
同	三四一二	同	和氣喜代之助	土井龜太郎	ノ控訴記録
同	三四一三	同	西川トキ	美濃善作	ノ控訴記録
同	三四一四	同	小西榮太郎	植森吉吉	ノ控訴記録
同	三四一五	同	馬場重太郎	橋本尙四郎	ノ控訴記録
同	三四一六	同	米田勇吉		

上告

同	三四一七	同	鹿嶋光之助	鹿嶋志賀	ノ控訴記録
同	三四一八	同	高田シカ	金本長吉	ノ控訴記録
同	三四一九	同	岡本房樹	前田ヨキ	ノ控訴記録
同	三四二〇	同	久住藤平	大日本製糖株式會社	ノ控訴記録
同	三四二一	同	藤岡徳兵衛	大日本ホテル株式會社	ノ控訴記録
同	三四二二	同	讚岐煉瓦株式會社	山口源兵衛	ノ控訴記録
同	三四二三	同	小笠原大成	京都市	ノ控訴記録
同	三四二四	同	也阿彌ホテル株式會社	田中利七	ノ控訴記録
同	三四二五	同	池内又四郎		
同	三四二六	同			
同	三四二七	同			
同	三四二八	同			
同	三四二九	同			
同	三四三〇	同			
同	三四三一	同			
同	三四三二	同			
同	三四三三	同			
同	三四三四	同			
同	三四三五	同			
同	三四三六	同			
同	三四三七	同			
同	三四三八	同			
同	三四三九	同			
同	三四四〇	同			
同	三四四一	同			
同	三四四二	同			
同	三四四三	同			

同	レ九七	貸料品金	田堀欽藏	杉山健一
同	レ一〇二	貸料品金	米山芳太郎	廣田左二馬
同	レ一〇五	貸料品金	西龜太郎	植野龜一
同	レ一九	貸料品金	山澤與之助	細井久兵衛
同	レ七一	米掛代金	乾關之助	平田房吉
同	レ五二	賣掛代金	大高利右衛門	矢田植楠
同	レ七二	土地經界代金	丸井作造	森本近太郎
同	レ一〇九	賣掛代金	北村コト	福塚清太郎
同	レ一〇八	同	大高利右衛門	岸本由松
同	レ一〇八	同	西田繁太郎	四ノ井與十郎
同	レ一一五	立替金給料金	阪田清三郎	奥野新兵衛
同	レ一一六	賣掛代金	濱田四郎	淡水清之助
同	レ一一八	株式買取證 (本訴反訴共)	水野松次郎	岸本菊藏
四二	番號 コ九八	破産宣告申立事件 半燒	神崎傳治郎	被申立人 太田安右衛門
四〇	番號 ソ六一	破産事件 全燒	河野徳之助	被申立人 越井喜代藏

四一	番號 ソ一九	刑事訴訟記録 第一審事件 全燒	破産(破産宣告確定) 目下附屬處分中	被申立人 渡邊安吉
四二	番號 チ一〇一九	豫罪 未遂	被告入氏名 藤 菊次郎	
同	番號 三三三	殺罪 未遂	被告入氏名 北口八十吉	
同	番號 三三九	私印私書偽造行使詐欺取財	被告入氏名 井上莊之助	
同	番號 三三二	横領	被告入氏名 行松光次郎	
同	番號 三三三	詐欺	被告入氏名 猪原勝太郎	
同	番號 二六七二	詐欺	被告入氏名 角谷元次郎	
同	番號 二六五三	詐欺	被告入氏名 田島竹次郎	
同	番號 二六〇一	詐欺	被告入氏名 猪原勝太郎	
同	番號 二五九二	詐欺	被告入氏名 角谷元次郎	
同	番號 二六八五	詐欺	被告入氏名 田島竹次郎	
同	番號 二六八四	詐欺	被告入氏名 金 藤 梅 吉	
同	番號 二六八三	詐欺	被告入氏名 多井仲嘉藏	
同	番號 二六八七	詐欺	被告入氏名 川口藤一郎	

四二七〇

二四五〇

私印私書偽造行使詐欺

池田伊作

備考

一田島竹次郎外三件ハ七月三十一日ノ受理ニシテ七月分事件簿中三十一日分一葉焼失セシ爲メ罪名不明

第二審事件ニシテ區裁判所ヨリ記録ノ送致ヲ受ケタルモ未タ裁判所ニ送致セサル前焼失セ

レ記録

受理年月日

受理番號

竊

名

被告人氏名

四二七三〇

控訴四四九

盜

名

安場百太郎

控訴事件燒失記録

罪 名

被告人氏名

備

受理年月日

受理番號

幼 者 違 禁

足 立 トリ

七月十九日判決

四二四二六

一四九七

文書偽造行使詐欺

長曾根久造

七月二十三日檢察控訴申立

四二四、五

九六四

過 失 殺

吉川未太郎

七月十四日判決

四二五三二

一九九〇

過 失 殺

吉川未太郎

七月十五日被告控訴申立

七月十六日判決

七月二十日被告控訴申立

七月二十日被告控訴申立

七月二十日被告控訴申立

七月二十日被告控訴申立

○文部省告示第二百三十一號 鹿兒島縣川邊郡知覽村ニ徒弟學校規程ニ依リ知覽村立工業徒弟學校ヲ設置シ明治四十二年九月ヨリ開校ノ件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百三十二號 私立厚南文庫ヲ山口縣厚狹郡厚南村立厚南尋常高等小學校内ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百三十三號 私立東海中學校ヲ愛知縣名古屋市東區車道町ニ設置シ明治四十二年九月ヨリ開校ノ件認可セリ

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百三十四號

右ハ徵兵令第十三條ニ依リ認定ス

明治四十二年九月七日

愛知縣私立東海中學校
文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百三十五號

鹿兒島縣鹿兒島市ニ設置セル鹿兒島女子師範學校内ニ鹿兒島縣立第二高等女學校ヲ設置シ明治四十二年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十二年九月八日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百三十六號

右ハ徵兵令第十三條並文官任用令第三條ニ依リ認定ス但シ認定ノ效力ハ別科生ニ及ハス

明治四十二年九月八日

德島縣板野郡立蠶業學校
文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百三十七號

右ハ徵兵令第十三條並文官任用令第三條ニ依リ認定ス

明治四十二年九月九日

福井縣敦賀町立商業學校
文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百三十八號

伊佐村立日露戰役紀念圖書館ヲ山口縣美禰郡伊佐村立伊佐尋常高等小學校ニ附設ノ件認可セリ

明治四十二年九月十日

文部大臣 小松原英太郎

○文部省告示第二百三十九號

右田村立圖書館ヲ山口縣佐波郡右田村立海北尋常小學校ニ附設ノ件認可セリ

明治四十二年九月十日

文部大臣 小松原英太郎

國語漢文 廣島高等師範學校	十一月十八日ヨリ 十一月二十日マテ	廣島高等師範學校 教授 櫻井村平
英語 廣島高等師範學校	十一月十八日ヨリ 十一月二十日マテ	廣島高等師範學校 教授 櫻井村平
國語漢文 廣島高等師範學校	十一月十八日ヨリ 十一月二十日マテ	廣島高等師範學校 教授 櫻井村平
英語 廣島高等師範學校	十一月十八日ヨリ 十一月二十日マテ	廣島高等師範學校 教授 櫻井村平
國語漢文 廣島高等師範學校	十一月十八日ヨリ 十一月二十日マテ	廣島高等師範學校 教授 櫻井村平
英語 廣島高等師範學校	十一月十八日ヨリ 十一月二十日マテ	廣島高等師範學校 教授 櫻井村平
國語漢文 廣島高等師範學校	十一月十八日ヨリ 十一月二十日マテ	廣島高等師範學校 教授 櫻井村平
英語 廣島高等師範學校	十一月十八日ヨリ 十一月二十日マテ	廣島高等師範學校 教授 櫻井村平
國語漢文 廣島高等師範學校	十一月十八日ヨリ 十一月二十日マテ	廣島高等師範學校 教授 櫻井村平
英語 廣島高等師範學校	十一月十八日ヨリ 十一月二十日マテ	廣島高等師範學校 教授 櫻井村平

一 講習員定員ハ各學科目毎ニ道府縣各一人トス
 二 地方長官ハ講習員ヲ選定シタルトキハ本人ノ氏名、職名、講習ヲ受クヘキ學科目及講習會場ヲ記載シタル選定書ヲ十月十日マテニ文部省普通學務局ニ差出シ開會前日マテニ講習會場ニ出頭セシムヘシ但シ當該學校ノ教員タルハキ資格ヲ有セサル者ハ之ヲ選定スルコトヲ得ス
 三 地方長官ハ定員以外ニ於テ各講習學科目ニ就キ候補員トシテ一人ヲ限リ選定スルコトヲ得
 四 文部省ニ於テハ前項候補員ニ就キ許可スルトキハ其ノ旨地方長官ニ通知ス
 五 講習ヲ了ハリタルトキハ編講日數其ノ他ヲ査察シ證明書ヲ授與スヘシ

各學科講習要目

教育科講習要目

- 第一章 倫理學
- 第二章 倫理學トハ何ツヤ
- 第三章 倫理學ノ哲學的基礎
- 第四章 意志自由ノ意義
- 第五章 動機ト志向
- 第六章 道德的標準
- 第七章 快樂說
- 第八章 進化論的快樂說
- 直覺說

每週二時

教授吉田 靜致

- 第九章 良心說
- 第十章 社會我
- 第十一章 良心ノ起源及發展
- 第十二章 道德ノ進歩
- 第十三章 良心ノ作用
- 第十四章 慾望ノ統御

每週二時

文學博士遠藤 隆吉

- 第一章 社會學ノ目的
- 第二章 社會變遷ノ大略
- 第三章 社會組織ノ大略
- 第四章 社會力
- 第五章 教育ト社會

每週二時

教授文學博士元良勇次郎

- 一 心理學ノ定義及研究法
- 二 神經解剖ノ大意
- 三 感覺論
- 四 知覺論
- 五 高等精神作用
- 六 感情論
- 七 本能及意志

教育

- 一 教育ノ目的論 每週四時 教授佐々木吉三郎
- 二 教育ノ場所 每週四時
- 三 教育ノ主體 每週四時
- 四 教育ノ客體 每週四時
- 五 教育ノ方法 每週四時
- 六 國家ト教育 每週四時
- 七 教育學其物ニ關スル改造ニツイテ 每週二時 教授波多野貞之助
- (二)歐米教育ノ實際
ドイツ、フランス、イギリス、アメリカ合衆國ニ於ケル小學校及師範學校ノ現時ノ制度並ニ教授訓練ノ現況ト其批判 每週二時 教授乙竹 岩造
- (三)實驗教育學 每週二時
- 一 科學的稟性論概要 每週二時
- 二 學習經濟論概要 每週二時
- (四)實地授業參觀 每週二日 教授波多野貞之助
- 附屬小學校ニ於ケル各教科ノ實地授業ノ參觀ト之ニ就キテ教授上訓練上ノ實際問題ノ討論
- 數學科講習要目 每週五時 教授林 鶴一
- 一 面積ト體積 每週五時
- 二 圖形ノ轉位 每週五時

超越數ニツキ

- 中學科ノ數學 每週二時 教授國枝 元治
- 教育學及教授法 每週三時 教授千本 福隆
- 國語漢文科講習要目 每週四時 教授佐々木吉三郎
- 一 漢文解釋講義(楚辭) 疑難解答 每週五時 教授松平 貞郎
- 二 國文學近世史 每週五時 教授藤村 作
- 三 參考書文學博士藤岡作太郎著國文學史講話 每週五時 教授櫻尾 治
- 三 國文法上ノ諸問題及其教授法 每週五時
- 四 教育 每週二時 教授春山 作樹
- 甲 教育ノ大意 每週二時
- 乙 教育演習 每週二時
- (イ)國語漢文科教授法ノ實際 每週二時 主任教授岡井 慎吾
- (ロ)國語漢文教授上ノ實際問題討論 每週一回 外本校附屬中學校國語漢文科擔任教官
- (ハ)研究授業及批評 每週一回
- (ニ)參觀批評 每週一回
- 英語科講習要目 每週五時 教授長屋 順耳
- 一 英語學史英語史 英語學 每週五時 教授杉森 此馬
- 二 應用音韻學分解的音韻學 総合的音韻學 每週五時
- 三 音讀法 每週五時 教師ヒ、エ、イ、ス、ミス

船打投網漁業	鮭、鰻、海鰱	同	船打投網漁業	鮭、鰻、海鰱	同
鰻、鰻、海鰱	同	同	鰻、鰻、海鰱	同	同
鳥介漁業	鳥介	同	鳥介漁業	鳥介	同
板屋介漁業	板屋介	同	板屋介漁業	板屋介	同
赤介漁業	赤介	同	赤介漁業	赤介	同
海風漁業	海風	同	海風漁業	海風	同
免許番號 第二三五七號			免許番號 第二三五八號		
漁場ノ位置 山口縣都波郡大津島村地先			漁場ノ位置 山口縣都波郡笠戸島ノ地先		
條件ハ制 (一)既ニ免許ヲ受ケタル鰻船曳			條件又ハ制 (一)既ニ免許ヲ受ケタル鰻船曳		
網及鰻船曳網漁業ヲ妨クヘカラス (二)鳥			網及鰻船曳網漁業ヲ妨クヘカラス (二)鳥		
介、板屋介、赤介ノ三種漁業ノ専用區域ハ漁			介、板屋介、赤介ノ三種漁業ノ専用區域ハ漁		
場中背線内ノ區域ニ限ル			場中背線内ノ區域ニ限ル		
漁業權者 山口縣都波郡徳山町徳山町漁業			漁業權者 山口縣都波郡徳山町徳山町漁業		
組合 同縣同郡下松町下松町漁業組合 同			組合 同縣同郡下松町下松町漁業組合 同		
縣同郡大津村、大島漁業組合 同縣同郡同			縣同郡大津村、大島漁業組合 同縣同郡同		
村、給島漁業組合 同縣同郡同村、柳ヶ濱漁			村、給島漁業組合 同縣同郡同村、柳ヶ濱漁		
業組合 同縣同郡富田村、富田村漁業組合			業組合 同縣同郡富田村、富田村漁業組合		
同縣同郡福川村、福川村漁業組合 同縣同郡			同縣同郡福川村、福川村漁業組合 同縣同郡		
戸田村、戸田村漁業組合 同縣同郡大津島			戸田村、戸田村漁業組合 同縣同郡大津島		
村、大津島村漁業組合			村、大津島村漁業組合		
免許番號 第二二六〇號			免許番號 第二二六二號		
漁場ノ位置 山口縣熊毛郡佐賀村大字尾園地			漁場ノ位置 山口縣熊毛郡佐賀村大字尾園地		
條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業及			條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業及		
鰻船曳網漁業ヲ妨クヘカラス			鰻船曳網漁業ヲ妨クヘカラス		
漁業權者 山口縣熊毛郡佐賀村大字尾園小			漁業權者 山口縣熊毛郡佐賀村大字尾園小		
郡、尾園小郡漁業組合			郡、尾園小郡漁業組合		
免許番號 第二二六一號			免許番號 第二二六三號		
漁場ノ位置 山口縣熊毛郡阿月村地先			漁場ノ位置 山口縣熊毛郡上関村大字祝島地		
條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業ヲ妨ク			條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業ヲ妨ク		
ヘカラス			條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業ヲ妨ク		
漁業權者 山口縣熊毛郡阿月村、阿月村漁業			漁業權者 山口縣熊毛郡上関村大字祝島祝		
組合			島漁業組合		
免許番號 第二二六三號			免許番號 第二二六四號		
漁場ノ位置 山口縣熊毛郡上関村大字祝島地			漁場ノ位置 山口縣熊毛郡佐賀村大字佐合島		
條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業ヲ妨ク			條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業ヲ妨ク		
ヘカラス			條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業ヲ妨ク		
漁業權者 山口縣熊毛郡上関村大字祝島祝			漁業權者 山口縣熊毛郡佐賀村大字佐合島		
島漁業組合			佐合島漁業組合		

免許番號 第二二六〇號			免許番號 第二二六二號		
漁場ノ位置 山口縣熊毛郡佐賀村大字尾園地			漁場ノ位置 山口縣熊毛郡佐賀村大字尾園地		
條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業及			條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業及		
鰻船曳網漁業ヲ妨クヘカラス			鰻船曳網漁業ヲ妨クヘカラス		
漁業權者 山口縣熊毛郡佐賀村大字尾園小			漁業權者 山口縣熊毛郡佐賀村大字尾園小		
郡、尾園小郡漁業組合			郡、尾園小郡漁業組合		
免許番號 第二二六一號			免許番號 第二二六三號		
漁場ノ位置 山口縣熊毛郡阿月村地先			漁場ノ位置 山口縣熊毛郡上関村大字祝島地		
條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業ヲ妨ク			條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業ヲ妨ク		
ヘカラス			條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業ヲ妨ク		
漁業權者 山口縣熊毛郡阿月村、阿月村漁業			漁業權者 山口縣熊毛郡上関村大字祝島祝		
組合			島漁業組合		
免許番號 第二二六三號			免許番號 第二二六四號		
漁場ノ位置 山口縣熊毛郡上関村大字祝島地			漁場ノ位置 山口縣熊毛郡佐賀村大字佐合島		
條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業ヲ妨ク			條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業ヲ妨ク		
ヘカラス			條件又ハ制 免許ヲ受ケタル鰻船曳網漁業ヲ妨ク		
漁業權者 山口縣熊毛郡上関村大字祝島祝			漁業權者 山口縣熊毛郡佐賀村大字佐合島		
島漁業組合			佐合島漁業組合		

